

高松宮妃癌研究基金 研究助成金受領者一覧

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令6	2025.2.21	大澤 毅	東京大学	准教授	ニュートリオミクスを駆使したがん代謝連関の解明と次世代代謝阻害剤の開発
令6		大塚基之	岡山大学	教授	PARP阻害剤適応症例の同定のための相同組み換え修復不全を持つ癌細胞の簡便な検出法の開発
令6		岡 泰由	名古屋大学	講師	内因性アルデヒドによる発がんメカニズムの解明
令6		荻原秀明	国立がん研究センター研究所	分野長	ARID1A欠損型びまん性胃がんにおける“パラログ同時阻害法”に基づいた合成致死標的の探索
令6		小幡裕希	国立がん研究センター研究所	独立ユニット長	正常とは異なり小胞体ーゴルジ領域で生じるMEI／ALK／RETシグナル～胃・肺がん、神経芽腫、甲状腺腫の初期分泌オルガネラへの停留メカニズムの解明～
令6		刀坂泰史	静岡県立大学	講師	がん関連線維芽細胞におけるアルギニンメチル化酵素の機能解析
令6		北村俊雄	東京大学	名誉教授	骨髄異形成症候群、再生不良性貧血、大顆粒リンパ性白血病、発作性夜間血色素尿症の関係性の解明:クローン性造血の関与
令6		佐伯龍之介	京都大学	助教	クローン性造血による発がんリスクを標的とした革新的予防医療の開発
令6		齋藤義修	大阪大学	助教	TEAD経路を標的とした肝細胞癌治療の新規治療法の開発
令6		佐々木泰史	札幌医科大学	教授	p53ネットワーク破綻による翻訳動態の変化と発がん過程における意義
令6		三田貴臣	名古屋市立大学	准教授	T細胞急性リンパ性白血病における転写因子異常とエピジェネティック制御
令6		塩谷文章	東京医科大学	教授	DNA複製動態解析によるがんの薬剤耐性獲得機構の解明
令6		白石航也	国立がん研究センター研究所	部門長	肺腺がんの発症リスクに関わるテロメアの多様性の解明と発症要因の同定
令6		鈴木隆史	東北大学	准教授	NRF2活性化扁平上皮癌の悪性化機構解明と新規治療法開発
令6		鈴木美穂	名古屋大学	助教	細菌感染が卵巣がんに及ぼす影響の解明と新規治療法の開発
令6		関 由行	関西学院大学	教授	始原生殖細胞の大量調整法を用いた胚細胞腫瘍発生機構の解明
令6		竹内千尋	東京大学医学部附属病院	助教	腸上皮化生特異的クロマチン異常に着目した新規胃癌治療法の開発
令6		田中洋介	東京大学医科学研究所	准教授	DNAバーコードを用いた白血病になりやすい造血幹細胞亜集団の同定
令6		田沼延公	宮城県立がんセンター研究所	部長	代謝制御を介して腫瘍細胞が自身への免疫寛容を導く新規メカニズム

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令6		茶本健司	京都大学	特定教授	T細胞内ミトコンドリア代謝におけるオートファージの役割解明と腫瘍免疫への応用
令6		富田亜希子	京都府立医科大学	プロジェクト研究員	BRCA1・BRCA2機能不全におけるゲノム発生機構の解明
令6		長澤丘司	大阪大学	教授	造血微小環境(ニッチ)を標的とした造血器腫瘍制御に向けた基礎研究
令6		中田雄一郎	千葉大学	特任助教	遺伝子発現抑制型オンコヒストンによる造血器腫瘍発症の解明とその応用
令6		中村修平	奈良県立医科大学	教授	オートファジーの加齢変容による発がん機構の解明
令6		鍋倉 幸	愛知県がんセンター研究所	分野長	次世代ナチュラルキラー細胞療法の開発に向けた基盤技術の構築
令6		野村昌志	東京大学	助教	浸潤部膠芽腫細胞の遺伝子発現プログラムの解明
令6		平塚佐千枝	信州大学	教授	ヒト転移前ソイルを生体で検出するシステム開発の試み
令6		福村和宏	藤田医科大学	講師	がん細胞が生成する異常プロテオームの特性と抗がん剤耐性獲得機構の解明
令6		平島一輝	岐阜大学	GYLC 特任助教	新規ミトコンドリア呼吸鎖阻害分子を用いた転移阻害戦略の開発
令6		細川裕之	東海大学	准教授	RUNX転写因子によるT細胞の運命決定とその破綻によるTALL発症メカニズムの解明
令6		町谷充洋	国立がん研究センター研究所	ユニット長	新規Rloop制御因子の探索
令6		丸山玲緒	がん研究会癌研究所	プロジェクトリーダー	腫瘍内不均一性の形成における染色体外DNAの役割と治療標的化の検討
令6		三橋惇志	徳島大学	特任講師	腫瘍内fibrocyteを標的としたがん間質の制御と新規免疫療法への展開
令6		三原田賢一	熊本大学	特別招聘教授	小児期特有の血中胆汁酸上昇によるがん化学療法後の骨髄回復機構の解明とその応用
令6		村井純子	愛媛大学	准教授	がん化学療法のunmet medical needs克服に向けたDNA損傷応答研究
令6		森田 覚	慶應義塾大学	助教	大腸癌肝転移における線維化誘導性免疫変容と転移再発メカニズムに関する研究
令6		安永純一郎	熊本大学	教授	HTLV1 bZIP factorTGF β /SmadWNT経路クロストークによる成人T細胞白血病発がん機序の解明
令6		山内拓司	九州大学病院	助教	BCL2阻害剤(ベネトクラクス)を用いた、新規AML治療法の開発
令6		吉見昭秀	国立がん研究センター研究所	分野長	PDXモデルを用いた肉腫核酸医薬療法の最適化

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令6	2024・2・22	渡邊 潤	新潟大学脳研究所	非常勤講師	小児脳幹部腫瘍に対するエピジェネティクスを標的とした放射線増感療法の開発
令5		石井秀始	大阪大学	特任教授(常勤)	難治性消化器がん単一細胞解析データを土台とした安全で有効な「mRNA CAR-T細胞療法」の実現
令5		石川秀樹	京都府立医科大学	特任教授	アスピリンの大腸癌予防効果に影響を与える要因の解析
令5		板橋耕太	国立がん研究センター	研究員	腫瘍の抗原提示能に着目した免疫疲弊機構の解明
令5		伊藤貴浩	京都大学	教授	分子標的薬への治療抵抗性と悪性化に共通するがん細胞の代謝形質とその機能に関する研究
令5		今村健志	愛媛大学	教授	革新的生体EMTイメージングシステムの開発とがん転移の時空間的多様性の理解
令5		植田航希	福島県立医科大学	講師	Non-genetic因子に着目した前白血病幹細胞から白血病幹細胞への進化機構の解明
令5		大澤志津江	名古屋大学	教授	“貪食”マクロファージが引き起こす非自律的がん促進とその遺伝的基盤
令5		大島浩子	金沢大学	准教授	線維性微小環境と遺伝子変異の相互作用による胆管がん発生機構の解明
令5		荻野崇之	大阪大学	寄附講座准教授	炎症性腸疾患関連癌における自然リンパ球を介した発癌メカニズムの解明
令5		川崎善博	関西医科大学	准教授	大腸癌におけるWnt-cMycシグナル軸を介した腫瘍増殖促進メカニズムの解析
令5		河本新平	大阪大学	准教授	大腸癌の加齢性発癌に関与する腸内細菌の特定とその役割の解明
令5		菊繁吉謙	九州大学病院	講師	ヒト白血病幹細胞特異的窒素代謝制御メカニズムの解明と治療モデルの確立
令5		河野 晋	金沢大学	助教	脂質リモデリングによる腫瘍内微小環境ホット化治療法の開発
令5		合山 進	東京大学	教授	TP53変異型赤白血病における腫瘍免疫抑制因子の同定
令5		小坂威雄	慶應義塾大学	専任講師	希少型前立腺導管癌オルガノイドに立脚したシングルセル解析と個別化医療の確立
令5		後藤典子	金沢大学	教授	ミトコンドリア1炭素代謝酵素による乳がん及び肺転移微小環境制御の解明
令5		塩田真己	九州大学病院	診療准教授	網羅的定量プロテオミクスによる前立腺癌の治療抵抗性に関する代謝経路の解明と治療応用
令5		水津 太	香川大学	准教授	老化細胞のアポトーシス誘発による膵癌予防機構の解明
令5		田中美和	がん研究会がん研究所	主任研究員	肉腫の融合遺伝子を標的とするエピゲノム編集治療の開発

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令5		谷内一郎	理化学研究所	チームリーダー	RUNX3機能制御による癌免疫増強法の開発
令5		谷口浩二	北海道大学	教授	炎症記憶によるがん化メカニズムの解明
令5		仲島由佳	神戸医療産業都市推進機構	研究員	T細胞老化を介したがん免疫治療耐性メカニズムの解明と治療法の開発
令5		永野 修	藤田医科大学	教授	転移性胃がんマウスモデルを用いた新規フェロトーシス誘導治療と免疫チェックポイント薬の併用効果の検討
令5		中村貴紀	愛媛大学	特定講師	がん特有の多極分裂回避機構を標的とする抗がん剤の創出
令5		西辻和親	和歌山県立医科大学	准教授	p53凝集体のcell-autonomousおよびnon cell-autonomousな影響の解析とがん治療への応用
令5		西村友美	京都大学	客員研究員	胚細胞系列BRCA1/2変異保有者における乳癌発症メカニズムの解明
令5		西山功一	宮崎大学	教授	がんを制圧する、生体力学的機構を利用した新たな血管新生制御法の開発
令5		平田祐介	東北大学	助教	ヒト特異的ながん細胞フェロトーシス感受性の制御機構の理解に基づく新規がん治療戦略の開発
令5		細野祥之	岡山大学	教授	癌・生殖細胞ネットワーク内にのみ存在する、新たな細胞死誘導経路を標的とした新規抗がん剤開発
令5		松井啓隆	国立がん研究センター中央病院	科長	RNAヘリケース変異によるR-loopの蓄積を介した骨髄性造血器腫瘍発症機序の解明
令5		丸山健太	自然科学研究機構 生理学研究所	特任准教授	大腸癌生物学の新境地開拓
令5		宮林弘至	東京大学医学部附属病院	助教	膀胱癌分子サブタイプbasal-like型におけるCD109の役割の解明と新規治療法の開発
令5		武藤朋也	国立がん研究センター研究所	主任研究員	炎症シグナル不応化メカニズムから迫る骨髄異形成症候群の病態解明と治療応用
令5		森下英晃	九州大学	教授	選択的オートファジーによる腫瘍形成抑制効果の分子基盤の解明
令5		諸石寿朗	熊本大学	教授	腫瘍微小環境においてがん細胞の共生現象をもたらす分子基盤の解明
令5		安原崇哲	京都大学	教授	染色体転座による血液腫瘍発生原理の解明
令5		谷内田真一	大阪大学	教授	大腸腫瘍発生予防を見据えた未病状態の解明に関する研究
令5		ROBBE, Pauline	理化学研究所	研究員	Explore genomic and immunological dysfunction in leukemia aggravated by recurrent infections
令4	2023・2・22	東 浩太郎	東京大学大学院	講師	治療抵抗性乳癌の新規治療法の開発を目的としたTRIMファミリー基質蛋白質の同定とその修飾・安定化メカニズムの解明

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令4		石川 俊平	東京大学大学院	教授	ゲノム病理情報の定量的統合によるがん多様性の解明
令4		梅本 晃正	熊本大学 国際先端医学研究機構	特任准教授	クロマチン動態に基づいた造血幹細胞の運命制御機構と骨髄抑制回復療法の確立
令4		江幡 正悟	和歌山県立医科大学	教授	粘液型脂肪肉腫の転移メカニズムの解明
令4		大木 理恵子	国立がん研究センター研究所	独立ユニット長	日本人が発症する非機能性の膵神経内分泌腫瘍の悪性化に伴った代謝変換メカニズムの解明と新規治療法開発 ～膵神経内分泌腫瘍におけるがん抑制遺伝子p53経路の役割に焦点を当てて～
令4		大谷 理浩	岡山大学病院	助教	一細胞時空間解析による神経膠腫の構造的脆弱性を標的とした新規免疫法の開発
令4		越智 俊元	愛媛大学大学院	講師	キメラ抗原受容体T細胞における新たな細胞内活性化シグナルの解明とがん治療への応用
令4		川上 正敬	東京大学医学部附属病院	特任講師	癌細胞の過剰中心体収束の阻害による癌治療戦略の新規標的分子の探索
令4		河津 正人	千葉県がんセンター研究所	部長	ゲノム異常および代謝異常に伴う腫瘍特異的転写バリエーションの探索およびその腫瘍免疫への影響の解明
令4		鯉沼 代造	東京大学大学院	准教授	膵・消化管神経内分泌腫瘍の進展を制御する転写因子の同定とエピゲノム調節機構の関与
令4		小林 恭	京都大学大学院	教授	膀胱癌の多様性の分子生物学的理解に立脚した疾患モデルの構築と個別化医療への応用
令4		紺野 宏記	金沢大学	准教授	高速原子間力顕微鏡を用いた子宮頸がん主要因タンパク質複合体の構造動態解明
令4		今野 雅允	産業技術総合研究所	主任研究員	膵臓がん特異的RNA修飾の機能解析と新規診断マーカーの開発
令4		齋藤 康太	秋田大学大学院	教授	分泌経路に着目したがん微小環境の解析
令4		塩川 大介	国立がん研究センター研究所	ユニット長	大腸がん治療抵抗性細胞に於ける薬剤耐性メカニズムの解明
令4		杉本 幸太郎	福島県立医科大学	講師	卵巣漿液性癌の革新的バイオマーカーSpondin-1が制御するがん悪性形質促進機構の解明
令4		関戸 好孝	愛知県がんセンター研究所	副所長 兼 分野長	悪性中皮腫細胞におけるフェロトーシス細胞死の易誘導機構の解明と治療標的の同定
令4		千場 隆	熊本大学 国際先端医学研究機構(IRCMS)	客員講師	腫瘍微小環境におけるJNKシグナルを標的とした新規治療戦略の開発
令4		園下 将大	北海道大学 遺伝子病制御研究所	教授	個体表現型スクリーニングによる新規膵がん治療法の創出
令4		高橋 暁子	(公財)がん研究会がん研究所	プロジェクトリーダー	がん微小環境における老化細胞由来細胞外小胞の機能解析
令4		田村 彰広	神戸大学大学院	特命講師	抗SIRP α 抗体を用いた貪食機構制御による難治性神経芽腫の新規治療開発
令4		富田 耕造	東京大学大学院	教授	がん抑制機能を持つマイクロRNAの発現制御機構の構造生物学的解析
令4		中奥 敬史	国立がん研究センター研究所	主任研究員	大規模ゲノム情報に基づく機能獲得型変異クラスターの同定法の開発と治療展開

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令4		中野 裕康	東邦大学	教授	IL-11 ⁺ cancer-associated fibroblasts(CAFs)のheterogeneityの解析と発がんにおける役割の解明
令4		西村 耕太郎	(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター	主任研究員	p53変異特異的酸化ストレスシグナルを標的とする新規治療応用
令4		仁平 直江	聖マリアンナ医科大学大学院	特任講師	乳癌における免疫チェックポイント分子PD-L1の機能解明と治療への展開
令4		早河 翼	東京大学医学部附属病院	特任講師	糖鎖変化とゴルジ体ストレスによる胃癌増殖機構の解明と新規レクチン薬物複合体の開発
令4		原田 浩	京都大学大学院	教授	腫瘍内低酸素を指標に“がんの早期発見と予後予測”を可能にする血漿バイオマーカーの開発
令4		菱田 友昭	和歌山県立医科大学	准教授	未分化胃がんにおける新たな分子標的としてのTOP2Aの役割の検証
令4		藤田 幸	島根大学	教授	クロマチン高次構造制御の破綻による脳腫瘍形成の分子メカニズム解明
令4		藤原 英晃	岡山大学病院	助教	マルチオミクス解析を用いた細胞死解析に基づく免疫細胞療法の効果増強・副作用低減法の開発
令4		本宮 綱記	金沢大学 がん進展制御研究所	特任助教	「見えざる転移」を駆逐するための極小血管性ニッチの機能解析
令4		松尾 恵太郎	愛知県がんセンター	分野長	飲酒関連がんにおける発癌メカニズムの異質性の解明に基づく個別化予防法を志向した分子疫学研究
令4		水上 裕輔	旭川医科大学	教授	膵癌初期発生におけるクローン進化多様性の解明
令4		山本 昌平	東京大学大学院	助教	細胞分裂期の細胞膜を標的とした光誘導型がん増殖抑制法の開発
令4		山本 雄介	国立がん研究センター研究所	ユニット長	がん特異的なエクソソーム分泌阻害による新規治療戦略の開発
令4		吉田 健一	国立がん研究センター研究所	分野長	前がん病変の空間的ゲノム解析による肺腺がん多段階発がん機構の解明
令4		脇田 将裕	大阪大学	特任助教	次世代型Senotherapyの確立とがん治療への応用
令3	2022・2・22	池上 徹	東京慈恵会医科大学	教授	膵癌特異的ミトコンドリア代謝メカニズムの分子機序解明と革新的治療の開発
令3		池田 和博	埼玉医科大学	准教授	女性がん患者由来がん培養・移植系を活用した呼吸鎖超複合体のがん代謝における役割の解明とその応用
令3		岩槻 政晃	熊本大学大学院	診療講師	胃癌におけるdysplasia-adenoma-adenocarcinoma sequenceの分子生物学的解明
令3		上阪 直史	東京医科歯科大学大学院	教授	神経伝達・グリア伝達依存的な脳腫瘍進展のメカニズム解明
令3		榎本 篤	名古屋大学大学院	教授	免疫チェックポイント阻害薬の効果増強法の研究開発
令3		衣斐 寛倫	愛知県がんセンター研究所	分野長	腫瘍周囲環境がKRAS阻害薬感受性に与える役割の解明と治療応用
令3		遠藤 裕介	(公財)かずさDNA研究所	室長	脂肪酸イノメタボリズムを標的とした生体にとって一石三鳥となる抗腫瘍戦略の構築
令3		遠西 大輔	岡山大学病院	研究教授	空間マルチオミクス解析を用いた悪性リンパ腫の微小環境空間ネットワークの解明と新規免疫治療法の開発

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令3		岡本 康司	国立がん研究センター研究所	分野長	空間的オミックス解析による卵巣明細胞がんの治療抵抗性領域の解明
令3		越智 陽太郎	京都大学大学院	特定助教	オミックス解析による白血病における転写脆弱性の解明
令3		梯 アンナ	大阪市立大学大学院	講師	浸潤性膵管癌の早期発見や治療のための新規バイオマーカーおよび分子ターゲットの解明
令3		片山 量平	(公財)がん研究会がん化学療法センター	部長	ゲノムワイドスクリーニングを用いたがん治療残存細胞の性状解析と新規治療標的の探索
令3		加藤 浩貴	東北大学病院	助教	ヘム合成酵素CPOXの阻害による鉄依存性細胞死の誘導で白血病を克服する
令3		茅野 新	東海大学医学部付属病院	准教授	患者由来オルガノイドを用いた転移性大腸癌に対するMicrobiomeを活用した個別化癌薬物療法の開発
令3		熊谷 尚悟	国立がん研究センター研究所	外来研究員	腫瘍局所における乳酸代謝を標的とした新規免疫療法の開発
令3		小沼 貴晶	東京大学医科学研究所先端医療研究センター	准教授	テトラスパニン関連表面抗原を標的とした骨髄性白血病に対する免疫療法の開発
令3		齋藤 敦	広島大学大学院	牽引准教授	小胞体膜局在転写因子OASISを介したp53非依存的な細胞老化と癌化制御機構解明
令3		指田 吾郎	熊本大学国際先端医学研究機構	特別招聘教授	数的染色体異常による骨髄異形成症候群の発症機序の解析
令3		柴田 淳史	群馬大学未来先端研究機構	准教授	DNA損傷が惹起する腫瘍免疫賦活化機構の解明と新規治療戦略の開拓
令3		榛葉 繁紀	日本大学	教授	体内時計システムのかく乱による大腸がん発症機構の解明
令3		鈴木 拓	札幌医科大学	教授	ヒストン修飾酵素DOT1L阻害による免疫応答の機序解明とがん治療への応用
令3		関根 圭輔	国立がん研究センター研究所	独立ユニット長	ヒト患者組織および患者由来オルガノイドのマルチオミックス解析を用いた膵癌細胞社会の統合解析
令3		高橋 秀和	大阪大学大学院	助教(学部内講師)	アポトーシスを標的とした新規大腸癌革新的治療薬の実用化に向けた前臨床研究
令3		武田 はるな	国立がん研究センター研究所	ユニット長	SBトランスポゾン挿入変異誘発を用いた大腸炎関連がん形成の解明
令3		田中 広祐	国立がん研究センター先端医療開発センター	研究員	ミトコンドリアDNAをターゲットとした免疫原性を高める新たな治療戦略
令3		田中 伸之	慶應義塾大学	専任講師	腎がんクローン進化と多様な腫瘍免疫浸潤の空間シングルセル解析
令3		田中 庸介	国立がん研究センター研究所	特任研究員	上皮間葉転換遺伝子活性化を伴う難治性消化器がんにおける転写制御理解に基づく治療法開発
令3		寺井 健太	京都大学大学院	准教授	ヒト膵癌オルガノイドを用いた腫瘍微小環境構築機構の解明
令3		富樫 庸介	岡山大学学術研究院	教授	抗腫瘍免疫応答における時空間的T細胞老化及び疲弊の解明
令3		内藤 幹彦	東京大学大学院	特任教授	がん特異的融合タンパク質の分解
令3		中川 勇人	三重大学大学院	教授	脂質生合成経路を基軸とした肝外胆管癌発症機序解明と新規治療薬の創出

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令3		中西 祐貴	京都大学	特定助教	がん幹細胞性と間質反応制御による新規大腸がん免疫治療戦略の樹立
令3		野島 孝之	九州大学生体防御医学研究所	准教授	抗がん化合物で誘導される“未成熟”転写終結制御機構とそれ由来長鎖非コードRNAの生理学的機能解析
令3		増田 隆明	九州大学病院別府病院	准教授	新たながん治療標的『タンパク翻訳リプログラミング異常』の解明とリポジショニング創薬
令3		松本 知訓	大阪大学微生物病研究所	助教	倍数性変化と細胞老化脱出を標的とした、癌腫・薬剤横断的に薬剤耐性化を抑制する新規治療の開発
令3		三浦 恭子	熊本大学大学院	准教授	最長寿命菌類ハダカデバネズミの生体内における発がん抑制機構の解明
令3		三吉 範克	大阪大学大学院	助教(学部内講師)	培養がん細胞を用いた腫瘍微小環境におけるがん細胞と間質細胞の多次元解析
令3		向井 康治朗	東北大学大学院	助教	腫瘍免疫療法への応用に向けたSTING経路の活性制御機構の解明
令3		武藤 倫弘	京都府立医科大学	教授	家族性大腸腺腫症におけるがん予防効果判定血液マーカーの検証
令3		八幡 崇	東海大学	教授	PAI-1パラドックスの解明による新規複合的がん免疫療法の確立
令3		山田 忠明	京都府立医科大学大学院	准教授	希少肺がんのAXLを介した治療抵抗性シグナルを標的とした診断・治療法の開発
令3		山本 恵介	東京大学大学院	助教	セリン生合成経路欠損臓がんを標的とした合成致死治療法の開発
令3		山本 博幸	聖マリアンナ医科大学大学院	教授	人工知能・新型ゲノムデータ駆動型アプローチに基づく革新的胃癌統合医療の創成
令2	2021・2・22	飯森 真人	九州大学大学院薬学研究院	准教授	がん老化細胞を制御する分子機構の解明と新たながん治療戦略の確立
令2		伊川 友活	東京理科大学 生命医科学研究所	教授	新規がん誘導モデルを用いた急性リンパ性白血病発症機構の解明
令2		石田 高司	名古屋大学大学院	特任教授	シングルセル解析および免疫ゲノム解析による、成人T細胞白血病/リンパ腫の分子病態、免疫病態解明と、モガムリズマブを用いた至適治療法確立
令2		伊地知 秀明	東京大学医学部附属病院	講師	膵癌微小環境の多様性とTGF- β -ケモカインシグナルネットワークの病態における意義の解明
令2		伊藤 心二	九州大学病院	併任講師	肝癌の微小環境における多様性のメカニズムの網羅的解析
令2		井上 聡	愛知県がんセンター研究所	ユニット長	子宮体がん個別化医療に向けた至適診断・治療法の開発基盤の構築
令2		井上 大地	神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター	グループリーダー (上席研究員)	プロモドメインファミリー分子のスプライシング異常を介した発癌機構の解明と治療応用
令2		魏 范研	東北大学加齢医学研究所	教授	RNA修飾に基づくがん細胞の環境ストレス耐性獲得の分子基盤の解明
令2		垣内 伸之	京都大学大学院	助教	網羅的ゲノム解析による原発性硬化性胆管炎の病態と発がん基盤の解明
令2		片岡 直行	東京大学大学院	准教授	スプライシング因子変異が引き起こすエピジェネティクス異常を標的とした新規癌治療法開発研究

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令2		加留部 謙之輔	琉球大学大学院	教授	空間的多様性を伴う病変の網羅的遺伝子解析による成人T細胞性白血病/リンパ腫の病態解明
令2		川内 大輔	国立精神・神経医療研究センター	室長	マウス発生工学と腫瘍ゲノム学を駆使したエピジェネティックな脳腫瘍形成メカニズムの解明
令2		北川 大樹	東京大学大学院	教授	ヒト骨髄性白血病細胞に特異的な紡錘体形成機構の解析と創薬への応用
令2		北嶋 俊輔	(公財)がん研究会がん研究所	研究員	MPS1を標的とした免疫チェックポイント阻害剤治療抵抗性を克服するための新規治療法の開発
令2		河野 隆志	国立がん研究センター研究所	分野長	リアルワールドエビデンスに基づくアジア高発婦人科がん個別化治療の実装
令2		古屋 淳史	国立がん研究センター研究所	主任研究員	B細胞リンパ腫特異的PD-L2発現制御分子基盤の網羅的検討
令2		小山 正平	国立がん研究センター先端開発医療センター	ユニット長	免疫セマフォリンによる抗腫瘍T細胞の機能制御に関する臨床検体をを用いた検討
令2		齊藤 康弘	慶應義塾大学 先端生命科学研究所	特任講師	エストロゲン受容体陽性乳がんの特異的な代謝経路の解析
令2		佐伯 浩司	群馬大学大学院	教授	放射線照射で誘導されるメモリーCD8T細胞を活性化させる新規免疫アジュバント療法の開発 ～新規マウス腫瘍モデルを用いて～
令2		佐藤 卓	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	准教授	患者由来食道がんオルガノイドを用いた、がんの薬剤耐性獲得機構の解明と制御
令2		清島 亮	慶應義塾大学	助教	大腸癌肝転移における癌関連線維芽細胞出現メカニズムの解明
令2		高橋 良太	東京大学大学院	助教	脾臓癌におけるVCAM-1標的療法の作用機序解析と臨床応用を見据えた治療効果解析
令2		田所 優子	金沢大学 がん進展制御研究所	助教	遺伝子異常に依存した食餌性ストレスによる白血病進展機構の解析
令2		谷口 博昭	慶應義塾大学病院	特任准教授	変異KRASのタンパク質相互作用をターゲティングする新規抗悪性腫瘍薬スクリーニング系の構築
令2		内木 綾	名古屋市立大学大学院	准教授	肝細胞ギャップ結合異常とエクソームを介した肝星細胞の活性化による新規非アルコール性脂肪肝炎(NASH)モデルにおける肝発がん機序の解析
令2		中岡 博史	(公財)佐々木研究所 附属佐々木研究所	部長	子宮内膜症発症におけるオリゴクローン性増殖モデルの検証
令2		仲矢 道雄	九州大学大学院	准教授	腫瘍形成における新規癌関連線維芽細胞の生理的役割解明
令2		西原 広史	慶應義塾大学医学部 臨床研究推進センター	教授	ゲノムプロファイルと病理形態学的診断に基づく、統合的病理・遺伝子診断システム開発
令2		細川 裕之	東海大学	特任講師	T細胞初期発生におけるガン遺伝子PU.1の発現抑制メカニズムの解明
令2		本田 一文	日本医科大学大学院	大学院教授	早期脾がんおよび脾がんリスク集団層別化のための血液バイオマーカー開発
令2		前川 大志	慶應義塾大学	専任講師	HER2陽性乳癌の新規治療薬開発に資する新しいEGFR脱リン酸化機構の構造生物学的解析
令2		牧野 知紀	大阪大学大学院	学部内講師	免疫モニタリングによる上部消化管がん免疫応答機序の解明とその臨床応用

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令2		皆川 茜	信州大学	助教	足底メラノーマの発症に関わる皮膚エイジングの解析および診断への応用
令2		村田 和貴	千葉大学大学院医学研究院	特任助教	難治性大腸がん治療開発を目指した腸管上皮幹細胞再生における転移因子Asc12の役割と作用機構
令2		森下 和広	宮崎大学	教授	HTLV-1キャリアへの日和見感染により促進される成人T細胞白血病(ATL)発症機構の解明
令2		山下 継史	北里大学	教授	癌抑制遺伝子HOPXの癌抑制分子機序解明
令2		横井 暁	名古屋大学医学部附属病院	助教	がんゲノム搭載細胞外小胞を対象とした新たなリキッドバイオプシー戦略
令2		吉岡 研一	国立がん研究センター研究所	ユニット長	ゲノム安定性の維持・制御を作用点としたがんのリスク制御機構の研究
令2		吉見 昭秀	国立がん研究センター研究所	独立ユニット長	スプライシング解析を活用した脳腫瘍バイオマーカーの創出
令2		渡邊 すぎ子	熊本大学発生医学研究所	研究員	細胞老化に伴うゲノム不安定性検出を目指した核外ゲノム次世代シーケンスと、がんのゲノム構造変異発生の分子機構
令元	2020・2・21	石井 秀始	大阪大学大学院	特任教授	マルチモダリティー1分子イメージングによる上皮性がん幹細胞の可視化と創薬基盤の構築
令元		上野 英樹	京都大学大学院	教授	乳がん微小環境におけるPD-1hi CD4+ T細胞のシングルセルレベル解析
令元		上原 亮太	北海道大学	准教授	倍数性逆転による細胞ガン化メカニズムの解明
令元		大澤 毅	東京大学先端科学技術研究センター	特任准教授	腫瘍微小環境におけるアミノ酸代謝適応機構の解明と治療法の開発
令元		大橋 真也	京都大学大学院	助教	アセトアルデヒドによる食道扁平上皮発がん機序の解明
令元		荻原 秀明	国立がん研究センター研究所	分野長	クロマチン制御因子欠損型小児性若年性がんにおける合成致死治療法の開発
令元		折茂 彰	順天堂大学	准教授	トラスツズマブ治療抵抗性乳癌における癌内線維芽細胞の役割
令元		金子 修三	国立がん研究センター研究所	ユニット長	多層的ゲノム・エピゲノム解析に基づいた次世代型精密がん医療予測モデルの確立
令元		菊繁 吉謙	九州大学大学院	講師	アミノ酸代謝経路によるがん幹細胞制御機構の解明と治療応用
令元		菊池 次郎	自治医科大学分子病態治療研究センター	准教授	多発性骨髄腫細胞同士の相互作用による薬剤耐性獲得機構の解明
令元		昆 彩奈	京都大学大学院	助教	染色体高次構造を介した遺伝子の発現・転写後調節の破綻に起因する骨髄異形成症候群の分子病態の解明
令元		近藤 豊	名古屋大学大学院	教授	膵臓がん細胞のDNA複製ストレスを調整する長鎖非翻訳RNAの機能解明とその標的化
令元		齋藤 大介	九州大学大学院	教授	胚細胞腫瘍の発症機構の解明
令元		斉藤 典子	がん研究会がん研究所	部長	核内ノンコーディングRNAの液-液相分離による乳がん細胞の遺伝子発現制御

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令元		坂田(柳元) 麻実子	筑波大学	准教授	T細胞リンパ腫の微小環境を構成する細胞群の起源と腫瘍細胞支持機構の解明
令元		佐久間 圭一朗	愛知県がんセンター研究所	ユニット長	上皮間葉転換に伴い発現するCTNND1異常アイソフォームを標的とする大腸がん転移抑制薬の開発
令元		櫻井 雅之	東京理科大学生命医科学研究所	講師	内在性塩基編集による細胞がん化制御機構の解明とその応用による早期診断・修復法の開発
令元		佐藤 礼子	東京薬科大学	講師	抗がん剤耐性メカニズムの解明と新規治療標的の同定
令元		佐藤 和秀	名古屋大学高等研究院	S-YLC特任助教	腫瘍免疫逃避機構をターゲットとした光がん免疫療法の開発
令元		白石 航也	国立がん研究センター研究所	ユニット長	ゲノム解析に基づく宿主並びに腫瘍における免疫応答ネットワーク機構の解明
令元		田口 歩	愛知県がんセンター研究所	分野長	PDXモデルを用いた高深度プロテオミクスによる革新的膀胱癌免疫治療法の開発
令元		田中 正光	秋田大学大学院	教授	がんの進展を加速する間質細胞ネットワークの情報伝達機構
令元		田中 知明	千葉大学大学院医学研究院	教授	がん幹細胞特性制御に関わるp53依存的長鎖非コードRNAの同定と創薬への応用
令元		千葉 奈津子	東北大学加齢医学研究所	教授	がんのゲノム不安定性を標的とした新しいがん治療法の開発
令元		塚原 智英	札幌医科大学	准教授	ゲノム編集免疫記憶幹細胞を用いた肉腫の養子免疫療法開発
令元		豊國 伸哉	名古屋大学大学院	教授	発がん過程におけるフェロトーシスの意義の追究
令元		中嶋 悠一郎	東北大学学際科学フロンティア研究所	助教	腫瘍が誘導する全身性応答を制御する宿主側因子の同定と機能の解明
令元		中原 史雄	東京大学医学部附属病院	講師	白血病に対する強力化療法の骨髄移植後の骨髄工場で干渉に付するための再賦活化骨髄間葉系幹細胞(revitalized MSC)を用いた人工骨髄の開発
令元		野村 幸世	東京大学大学院	准教授	ラット逆流性食道炎モデルを用いたバレット食道のMEKインヒビター薬剤Aによる可逆性の検討
令元		服部 鮎奈	国立がん研究センター研究所	研究員	翻訳後修飾によるがん幹細胞の自己複製と分化の制御機構
令元		深田 俊幸	徳島文理大学	教授	がん悪液質における生体微量金属の役割解明と創薬研究
令元		藤田 雄	東京慈恵会医科大学	助教	免疫チェックポイント阻害剤における新規コンパニオン診断薬の開発
令元		松本 佳則	岡山大学大学院	助教	癌転移を制御するメカニズムの解明と新規治療法の開発
令元		三浦 進司	静岡県立大学	教授	がん悪液質による進行性の骨格筋減少を抑制する化合物の探索と評価
令元		谷内田 真一	大阪大学大学院	教授	腸内微生物が大腸癌発症に及ぼす影響に関する研究
令元		山口 英樹	佐々木研究所	部長	マルチカラー蛍光イメージングによるスキルス胃癌腹膜播種機構の解析

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
令元		山田 武司	愛媛県立医療技術大学	教授	細胞内エネルギー代謝調節による効果的なT細胞免疫療法の開発
令元		山道 信毅	東京大学医学部附属病院	センター長(准教授)	エピゲノム解析・網羅的遺伝子発現解析に基づく自己免疫性胃炎の発癌ポテンシャルの解明
令元		横山 顕礼	京都大学医学部附属病院	特定助教	食道がんの起源
令元		吉村 昭彦	慶應義塾大学	教授	細胞傷害性T細胞の疲弊化メカニズム解明とその解除による新規抗腫瘍免疫療法の開発
平30	2019・2・22	石本 崇胤	熊本大学医学部附属病院	特任准教授	スキルス胃癌腹膜播種を促進する細胞間クロストーク機構の解明
平30		大口 裕人	熊本大学生命資源研究・支援センター	准教授	多発性骨髄腫細胞増殖を制御するヒストン修飾機構の解明
平30		大谷 直子	大阪市立大学大学院	教授	脂肪肝を素地とする肝がんの発症機構の解明と予防法の開発
平30		籠谷 勇紀	東京大学医学部附属病院	講師	芳香族炭化水素受容体シグナルに着目した幹細胞様メモリーT細胞の維持機構の解明とがんに対する養子免疫療法への応用
平30		加藤 洋人	東京医科歯科大学難治疾患研究所	助教	次世代免疫ゲノム解析による腫瘍免疫の本態解明
平30		加藤 裕教	京都大学大学院	准教授	神経膠芽腫浮遊培養モデルにおける凝集体形成の分子メカニズムの解明
平30		金田 篤志	千葉大学大学院	教授	エピゲノム特性の解析による去勢抵抗性前立腺癌の本態解明と新規治療戦略の確立
平30		川内 敬子	甲南大学	准教授	RASmRNAを分子標的とした新規光線力学療法の開発
平30		木村 航	理化学研究所生命機能科学研究センター	チームリーダー	心筋ターンオーバーから見た癌治療における晩期心不全発症機構の解明
平30		口丸 高弘	自治医科大学分子病態治療研究センター	講師	骨髄間質細胞による骨転移発症制御機構の解明
平30		國本 博義	横浜市立大学	助教	炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成
平30		合山 進	東京大学医科学研究所先端医療研究センター	准教授	腫瘍ニッチおよび腫瘍免疫回避機構を標的とした造血器腫瘍治療法の開発
平30		越川 直彦	神奈川県立がんセンター臨床研究所	部長	がん特異的に発現する細胞外マトリックスを指標とした肝発がん予測に関する研究
平30		小林 進	国立がん研究センター先端医療開発センター	分野長	肺がんにおけるヒストンアセチル化酵素の役割
平30		昆 俊亮	東京理科大学生命医科学研究所	講師	化合物スクリーニングによるがん細胞の基底膜浸潤制御因子の探索
平30		近藤 科江	東京工業大学生命理工学院	教授	超高感度HIF活性可視化Tgマウスを用いた腫瘍内間質細胞の統合的理解に基づいた新規治療法の開発
平30		今野 雅允	大阪大学大学院	講師	RNA修飾機構を標的とした難治性膵臓がんに対する新規抗がん剤とそのコンパニオン診断薬の開発
平30		齋藤 義正	慶應義塾大学	准教授	胆道・膵臓がんオルガノイドを用いたエピゲノム異常の解明とエピゲノム編集による新規治療法の開発

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平30		園下 将大	北海道大学遺伝子病制御研究所	教授	遺伝子変異の多様性が膵臓がんの発生に及ぼす影響の解析と新規膵臓がん治療法の開発
平30		谷口 英樹	東京大学医科学研究所	教授	ゲノム編集技術を活用したヒト膵癌治療抵抗性機構の解析
平30		田沼 延公	宮城県立がんセンター研究所	主任研究員	がんグルコース代謝の包括的理解にもとづく、新規治療戦略・戦術の導出
平30		田部 陽子	順天堂大学大学院	特任教授	白血病細胞の酸化的リン酸化代謝制御と治療応用
平30		千葉 滋	筑波大学	教授	脂肪酸組成および質による造血幹細胞の新規制御メカニズムの解明と白血病治療への応用
平30		内藤 尚道	大阪大学微生物病研究所	助教	腫瘍血管内皮細胞の多様性と内皮幹細胞性の証明による新たな血管阻害療法の提案
平30		中川 英刀	理化学研究所生命医科学研究センター	チームリーダー	大腸がんマイクロサテライト不安定性の全ゲノムレベルでの特徴と新規マーカー探索
平30		中川 雅夫	北海道大学大学院	助教	全ゲノムCRISPRスクリーニング法を用いたT細胞性リンパ腫に対する新規免疫療法の探索
平30		中山 恒	東京医科歯科大学難治疾患研究所	独立准教授	代謝異常乳がんの悪性化を促進する代謝酵素の新しい機能の解明とそれを標的とした乳がん治療法の開発研究
平30		深見 希代子	東京薬科大学	教授	がん細胞の悪性化を制御するイノシトールリン脂質代謝情報伝達系
平30		保仙 直毅	大阪大学大学院	准教授	固形がんに対する新規CAR T細胞療法の開発
平30		増田 万里	国立がん研究センター研究所	主任研究員	がん幹細胞の遺伝子転写を標的とした新規大腸がん治療薬の開発
平30		水島 恒和	大阪大学大学院	寄附講座教授	大腸の炎症関連癌における腸管免疫の関与の検討と治療成績向上に向けた診断・治療法開発
平30		宮崎 正輝	京都大学ウィルス・再生医科学研究所	准教授	悪性リンパ腫発生における3Dゲノム構造変換とがん抑制遺伝子Arfの発現抑制機構
平30		山田 泰広	東京大学医科学研究所	教授	リプログラミング技術による小児がんの病態解明
平30		横堀 武彦	群馬大学	特任准教授	微小管ダイナミクス制御タンパクStathmin1を標的とした難治性小細胞肺癌に対する新規治療ツールの開発
平29	2018・2・22	秋光 信佳	東京大学	教授	がん関連長鎖非コードRNAが形成する新規の核内構造体の機能解明
平29		足立 典隆	横浜市立大学	教授	DNAポリメラーゼθによるゲノム恒常性維持制御
平29		岩間 厚志	千葉大学大学院	教授	骨髄球系腫瘍におけるポリコム群複合体バリエントPRC1.1の癌抑制機能の解析
平29		江幡 正悟	東京大学	特任准教授	腎微小環境に着目した腎細胞癌治療の新規標的分子の同定
平29		衣斐 寛倫	愛知県がんセンター研究所	部長	KRAS変異腫瘍における腫瘍不均一性を克服する治療法の開発
平29		片岡 圭亮	国立がん研究センター研究所	分野長	NK細胞腫瘍における新規創薬標的の探索

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平29		黒澤 仁	藤田保健衛生大学	講師	ヒト変異Rasによって発がん誘導されたモデルラットを用いたRas変異型悪性腫瘍に対する新規治療用抗体の開発
平29		小坂 展慶	国立がん研究センター研究所	特任研究員	がん細胞における細胞外小胞顆粒の分泌制御機構の解明
平29		後藤 典子	金沢大学がん進展制御研究所	教授	幹細胞性をもつがん細胞のDNA複製ストレス耐性メカニズムの解明
平29		指田 吾郎	熊本大学	特別招聘教授	がん幹細胞特異的クロマチン制御による造血器腫瘍発症機構の解明
平29		佐藤 悠佑	東京大学医学部附属病院	助教	腎盂尿管癌および膀胱癌における多中心性多発の分子メカニズムの解明
平29		塩谷 文章	国立がん研究センター研究所	主任研究員	DNA複製ストレス抵抗性を制御するATRによる発がん促進機構の解明
平29		下野 洋平	神戸大学大学院	准教授	転移の礎となる乳がん幹細胞に特徴的に発現する分子を標的とした再発・転移予防法の開発
平29		高橋 智	筑波大学医学医療系	教授	転写因子c-Mafの腫瘍随伴マクロファージにおける機能解析
平29		滝澤 仁	熊本大学国際先端医学研究機構	特別招聘教授	炎症ストレスを起点としたクローナル造血の出現と進展の理解と制御
平29		立石 健祐	横浜市立大学大学院	助教	IDH1変異が誘導するDNA修復機構の解明と合成致死に基づく治療法の開発
平29		谷口 浩二	慶應義塾大学	特任准教授	消化器の発癌・再生におけるIL-6ST/gp130の役割の解析
平29		土屋 輝一郎	東京医科歯科大学	准教授	腸上皮分化システムによる臓器横断的がん難治化機構の解明
平29		富田 耕造	東京大学大学院	教授	転移RNAの修飾と乳癌転移の相関の分子基盤研究
平29		仲 一仁	広島大学原爆放射線医科学研究所	准教授	アミノ酸・ペプチド代謝による白血病幹細胞の制御機構の解析
平29		中田 慎一郎	大阪大学高等共創研究院	教授	DNA修復機構を基盤とした、合成致死抵抗性BRCA1変異腫瘍に対する新規分子標的の探索
平29		畠山 鎮次	北海道大学大学院	教授	癌関連TRIMファミリーユビキチン化酵素に関する新規基質同定法の樹立
平29		早河 翼	東京大学医学部附属病院	助教	胃癌のサブタイプ別発生メカニズムと腫瘍間質相互作用の網羅的解析
平29		福田 晃久	京都大学大学院	助教	膵癌の発生・進行におけるクロマチンリモデリング因子の役割
平29		福原 茂朋	日本医科大学	教授	腫瘍血管新生と生理的血管新生の違いから新たな癌の分子標的を探索する
平29		古澤 之裕	富山県立大学	講師	ヒストン脱アセチル化酵素阻害による制御性T細胞の抑制と抗腫瘍免疫の増強
平29		本田 浩章	東京女子医科大学	教授	ヒストン脱メチル化酵素UTX欠失による膀胱癌発症機構の解析と分子病態に基づく新規治療法の開発
平29		前田 高宏	九州大学病院遺伝子細胞療法部	准教授	CRISPR/Cas9スクリーニング法を用いたTP53遺伝子欠損白血病に対する新規治療法の探索

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平29		牧島 秀樹	京都大学大学院	講師	全ゲノム異常とトランスクリプトーム異常の同時解析による、骨髄腫瘍における新規治療標的分子の検索
平29		山口 知也	熊本大学大学院	准教授	肺腺がんにおけるカベオラ生理機能の解明と創薬への応用展開
平28	2017・2・22	家入 里志	鹿児島大学学術研究院	教授	小児がん(神経芽腫)に対する長期生存とQOL保持のための制がん剤減量を目指した精密画像誘導下内視鏡外科手術システムの開発
平28		池上 恒雄	東京大学医科学研究所	准教授	新規肝内胆管がんマウスモデルを用いた発がんメカニズムの解明
平28		依馬 正次	滋賀医科大学動物生命科学研究センター	教授	カニクイザルを用いた次世代のがん研究モデル動物の開発
平28		大木 理恵子	国立がん研究センター研究所	主任研究員	希少がんである神経内分泌腫瘍のがん抑制遺伝子PHLDA3の遺伝子診断による新しい予後・治療薬選択の診断法開発～神経内分泌腫瘍患者の個別化医療を目指して～
平28		小川 和彦	大阪大学大学院	教授	重粒子線照射による抗腫瘍免疫効果とその機序の解明
平28		島田 緑	名古屋市立大学大学院	講師	乳がんを高活性化されているChk1標的因子の機能解明と分子標的薬の創出
平28		下田 将之	慶應義塾大学	専任講師	機能的がん関連線維芽細胞集団の層別化研究
平28		高橋 秀尚	北海道大学大学院	講師	新規転写伸長制御因子Med26の腫瘍性疾患との関わりについての研究
平28		滝田 順子	東京大学大学院	准教授	治療抵抗性小児・AYA世代がんにおけるオミックス解析
平28		土屋 直人	国立がん研究センター研究所	ユニット長	新規miRNA分泌複合体～がん病態誘発との関連解明と応用に資する基礎研究～
平28		戸塚 ゆ加里	国立がん研究センター研究所	ユニット長	ゲノム変異・DNA付加体統合データに基づいた発がん要因探索に関する研究
平28		中川 勇人	東京大学医学部附属病院	助教	胆管恒常性破綻を基盤とした胆管がんモデルの構築と発生機序・起源細胞解明
平28		長澤 丘司	大阪大学大学院	教授	造血器腫瘍細胞と造血微小環境(ニッチ)との相互作用の解明
平28		中西 真	東京大学医科学研究所	教授	細胞老化を標的とした革新的がん治療法・予防法の開発
平28		西川 恵三	大阪大学免疫学フロンティア研究センター	准教授	がんの骨転移抑制を実現するエピゲノム創薬の研究
平28		浜本 隆二	国立がん研究センター研究所	分野長	タンパク質メチル化関連酵素を標的としたがん幹細胞に対する新規分子標的治療薬の開発
平28		原口 直紹	大阪大学大学院	助教	プレキシシン・セマフォリンシグナルを介した腸管再生、発がん機構の解明
平28		松田 宙	大阪大学大学院	講師	僻地医療のためのがん治療に対するロボット遠隔支援手術システムの確立に向けて
平28		三森 功士	九州大学病院別府病院	教授・診療科長	大腸前がん病変における多様性とがんへの進化を決める選択圧の解明
平28		安田 貴彦	名古屋医療センター臨床研究センター	室長	成人フィラデルフィア陰性急性リンパ性白血病における新規融合遺伝子探索とその機能解析

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平28		柳井 秀元	東京大学生産技術研究所	特任准教授	死細胞由来分子による自然免疫応答制御とがん微小環境形成における役割の解明
平28		矢野 聖二	金沢大学がん進展制御研究所	教授	肺がん脳転移の分子標的薬耐性を克服する研究
平28		山本 浩文	大阪大学	教授	マイクロRNA修復によるAPC遺伝子欠失型腸管がんの抑制と新たな発がんメカニズムの解明
平28		山本 雄介	国立がん研究センター研究所	主任研究員	がん遺伝子の多様性に基づく腫瘍形成能の比較検討およびその分子メカニズムの解明
平28		渡辺 賢二	静岡県立大学	教授	新規大腸がんリスク要因ーコリバクチンーの化学構造と生物活性の解明
平27	2016・2・19	油谷 浩幸	東京大学先端科学技術研究センター	教授	エピゲノム制御と発がん機構の解明
平27		石井 源一郎	国立がん研究センター先端医療開発センター	ユニット長	がん関連線維芽細胞により誘導される合成致死の分子機構の解明
平27		石原 美弥	防衛医科大学校	教授	がん微小環境研究のための微小血管ネットワークを可視化するin vivo光音響イメージングの研究開発
平27		猪原 秀典	大阪大学大学院	教授	ヒトパピローマウイルス咽頭感染の実態の解明ーヒトパピローマウイルス陽性中咽頭癌の撲滅に向けてー
平27		宇井 彩子	聖マリアンナ医科大学	講師	がん関連遺伝子ENL/MLLT1とポリコム遺伝子のユビキチン化を介した転写と染色体安定性の制御とその異常
平27		上野 博夫	関西医科大学	教授	多色細胞系譜追跡法によるがん幹細胞モデルの検証と解析
平27		榎本 将人	京都大学大学院	特定助教	Notchシグナルによる細胞自律的・非自律的な腫瘍悪性化機構の解析
平27		岡田 太	鳥取大学	教授	炎症発癌におけるドライバー遺伝子探索法の確立
平27		北川 雅敏	浜松医科大学	教授	肝がん細胞の運命を制御する新規長鎖non-coding RNA
平27		北村 俊雄	東京大学医科学研究所先端医療研究センター	教授	骨髄異形成症候群(MDS)の白血病化の分子機構の解析
平27		木戸屋 浩康	大阪大学微生物病研究所	助教	新規メカニズムによる腫瘍血管形成を制御するsFRP1シグナルの解析
平27		近藤 豊	名古屋市立大学大学院	教授	成人T細胞白血病における抗CCR4抗体治療抵抗性獲得に関わるエピゲノム機構の解明
平27		島 礼	宮城県立がんセンター研究所	部長	脱リン酸化酵素PP6のがん抑制作用の解析～25年目のミッシングピース～
平27		高橋 隆	名古屋大学大学院	教授	肺腺がんにおいて受容体型チロシンキナーゼROR1が担う生存シグナル維持の分子機構
平27		高山 賢一	東京大学医学部附属病院	助教	長鎖非コードRNAを介するホルモン療法耐性前立腺癌の発生・増悪に関わる作用メカニズムの解明とその診断・治療への応用
平27		武川 睦寛	東京大学医科学研究所	教授	新規ERKシグナル誘導分子による発癌および癌悪性化機構の解明
平27		竹馬 真理子	京都大学	特定准教授	アクアポリン3が関与する癌悪性化機構の分子メカニズムの解明

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平27		塚本(粟井)博丈	熊本大学大学院	助教	老齢個体の脂質代謝産物による慢性炎症惹起機構の解明と、抗腫瘍T細胞免疫療法への応用
平27		仲 哲治	医薬基盤・健康・栄養研究所	シニアプロジェクトリーダー	サイトカインシグナル伝達抑制分子SOCS3を用いた悪性胸膜中皮腫に対する新規遺伝子治療法の開発
平27		永瀬 浩喜	千葉県がんセンター研究所	研究所長	薬剤の腫瘍ゲノムへの送達によるがんエピゲノム変更と治療法の探求
平27		仲矢 丈雄	自治医科大学病理学講座	講師	組織内の蛋白複合体解析に基づくKLFの大腸癌を維持・促進する病的蛋白間相互作用の解明とその選択的阻害による癌幹細胞抑制治療の開発
平27		成島 聖子	理化学研究所統合生命医科学研究センター	研究員	ノバイオート技術を用いた大腸発癌に関わる腸内細菌の探索
平27		西川 博嘉	国立がん研究センター先端医療開発センター	分野長	がん局所の免疫抑制機構克服による次世代がん免疫療法の開発
平27		濱田 理人	筑波大学	助教	転写因子MafBによる腫瘍随伴マクロファージ数の制御による腫瘍悪性化の抑制
平27		原田 浩	京都大学大学院	特定准教授	低酸素誘導性遺伝子とがん抑制遺伝子のクロストークによるがん悪性進展制御機構の解明
平27		廣明 秀一	名古屋大学大学院	教授	癌幹細胞を標的としたWntシグナル伝達系Dishevelled阻害剤の合理的探索
平27		松井 啓隆	熊本大学大学院	教授	リボソームRNAプロセッシング異常という白血球発症の新しい概念の提示と検証
平27		本橋 ほづみ	東北大学加齢医学研究所	教授	NRF2依存を示す難治性がんにおける免疫感受性増強の試み
平27		安永 純一郎	京都大学ウイルス研究所	講師	成人T細胞白血病発がん機構におけるHTLV-1 bZIP factorのRNAおよびタンパク質としての機能解析
平27		吉田 清嗣	東京慈恵会医科大学	教授	癌幹細胞の可塑性制御機構解明と治療への展開
平26	2015・2・20	青木 耕史	福井大学	教授	大腸癌細胞の幹細胞性の負の制御機構の解明
平26		浅野 竜太郎	東北大学大学院	准教授	次世代低分子四重特異性四価がん治療抗体の開発研究
平26		新井 康仁	国立がん研究センター研究所	主任研究員	胆道がんの新規ドライバー融合遺伝子の機能解析と診断・分子標的治療への展開
平26		石井 秀始	大阪大学大学院	特任教授	機能性核酸の最適化による難治性消化器癌の克服
平26		市村 幸一	国立がん研究センター研究所	分野長	テモゾロミド耐性膠芽腫に対する新規分子標的治療の開発
平26		笠原 広介	愛知県がんセンター研究所	研究員	癌における生存増殖シグナル異常と染色体不安定性の連関
平26		河津 正人	東京大学大学院医学系研究科	特任講師	RACがん遺伝子の発がんメカニズムの解明
平26		國崎 祐哉	九州大学病院	助教	3次元イメージング技術による白血球幹細胞ニッチの同定
平26		鯉沼 代造	東京大学大学院	准教授	乳癌・肺癌細胞特異的なTGF- β シグナル伝達制御機構の統合的 同定解析

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平26		小島 研介	佐賀大学医学部	准教授	BMI1を分子標的とした白血病治療
平26		近藤 茂忠	徳島大学大学院	准教授	VEGF分子標的治療によって活性化する「治療抵抗性RNAプログラム」の解明と医療応用
平26		今野 良	自治医科大学附属さいたま医療センター	教授	HPVワクチンの有効性評価-子宮頸癌および関連病変の発生からみるpopulation impact
平26		阪口 政清	岡山大学大学院	准教授	がん転移における「種と土」のクロストークを遮断する分子標的製剤の開発
平26		坂田 麻実子	筑波大学	准教授	加齢によるエピゲノム異常を発端とする造血器腫瘍発症メカニズムの解明
平26		白石 航也	国立がん研究センター研究所	研究員	東アジア人集団で同定された肺がん感受性遺伝子座に対する検証研究
平26		清宮 啓之	(財)がん研究会がん化学療法センター	部長	ポリADP-リボシル化酵素タンキラーゼを標的としたがん分子治療法の開発
平26		関戸 好孝	愛知県がんセンター研究所	副所長兼部長	悪性中皮腫に対する新規分子標的治療薬の探索
平26		高木 正稔	東京医科歯科大学大学院	講師	Poly(ADP-リボース)ポリメラーゼ(PARP)を標的とした神経芽腫治療法の開発
平26		田中 真二	東京医科歯科大学	准教授	癌の難治性メカニズムに基づいた新規分子標的治療の開発
平26		田中 正光	秋田大学大学院	教授	がん細胞による間質細胞教育メカニズムの解明
平26		千葉 奈津子	東北大学加齢医学研究所	教授	新規BRCA1結合分子OLA1の中心体制御能の破綻と発がんメカニズムの解明
平26		中田 光俊	金沢大学	助教	ドラッグリポジショニングを指向した悪性脳腫瘍に対する新規治療法の確立
平26		藤田 和利	大阪大学大学院	助教	尿中エクソソームを用いたHigh risk前立腺癌の新規バイオマーカーの開発および癌進展機構の解析
平26		星野 幹雄	国立精神・神経医療研究センター	部長	小脳髄芽腫の発症機構の解明と新たな創薬ターゲットの探索
平26		増富 健吉	国立がん研究センター研究所	分野長	hTERT-RdRPIによる幹細胞因子の制御機構の解明
平26		的崎 尚	神戸大学大学院	教授	膜型分子SIRP α を標的とした新たながん治療薬の開発
平26		安永 正浩	国立がん研究センター東病院	ユニット長	難治性がんの間質を標的にしたAntibody-drug conjugateの開発
平26		温川 恭至	国立がん研究センター研究所	主任研究員	人工ヒトがん幹細胞を用いた発がん動物モデルの作製と特異的抗がん剤スクリーニング法の確立
平26		吉見 昭秀	東京大学大学院	特任助教	Monte Carlo Simulationによる白血病幹細胞の動態理解と白血病幹細胞特異的治療法の開発
平26		善本 隆之	東京医科大学医学総合研究所	教授	IL-27による造血幹細胞の分化増殖と動員を介した抗腫瘍免疫の誘導
平25	2014・2・21	大谷 直子	(財)がん研究会がん研究所	主任研究員	肥満による発がん促進機構の解明

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平25		大原 利章	岡山大学大学院	非常勤講師	肝臓癌における除鉄誘導療法の確立
平25		岡本 康司	国立がん研究センター研究所	分野長	単一細胞レベルでの遺伝子発現解析による難治がんの抗がん剤耐性メカニズムの解析
平25		神田 光郎	名古屋大学医学部附属病院	助教	臨床応用を目指した、新規高感度遺伝子解析技術による膵癌微小リンパ節転移迅速診断法の開発
平25		久米 恵一郎	産業医科大学	准教授	早期消化管癌の内視鏡治療を目的とした軟性内視鏡操作支援ロボットの開発
平25		近藤 輝幸	京都大学学際融合教育研究推進センター	教授	被曝ゼロで癌の早期診断を実現する分子標的MRI法の開発
平25		齊藤 達哉	大阪大学免疫学フロンティア研究センター	特任准教授	発癌に関わる炎症性サイトカインの産生制御機構の解明
平25		酒井 敏行	京都府立医科大学大学院	教授	新規分子標的薬と既存の薬剤の併用による効果増強法の開発
平25		佐治 重衡	京都大学大学院	特定准教授	乳癌ホルモン療法の効果を決める宿主側因子の探索とそのメカニズムの解明
平25		島 扶美	神戸大学大学院	准教授	新規Ras機能阻害物質Kobe0065ファミリー化合物のがん転移抑制メカニズムの解析
平25		菅沼 雅美	埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所	主席主幹	細胞表面のヌクレオリンを分子標的とする胃がん治療開発のための基礎的検討
平25		酒々井 眞澄	名古屋市立大学大学院	教授	DNA-ADPリボシル化蛋白質Pierisinのin vivoにおける抗がん効果
平25		鈴木 秀和	慶應義塾大学	准教授	CD44variant9陽性細胞指向性トレーサーによる胃がん幹細胞検出型PET診断の確立
平25		妹尾 浩	京都大学大学院	講師	癌幹細胞特異的な新規因子の同定と治療への応用
平25		前佛 均	札幌医科大学	特任講師	乳がん内分泌療法個別化投薬のための遺伝子診断の実用化
平25		谷 憲三朗	九州大学生体防御医学研究所	教授	全身投与可能な癌細胞標的ステルス化腫瘍溶解性RNAウイルス療法の開発
平25		橋本 茂	北海道大学大学院	准教授	ゲノム変異に伴う脂質代謝活性変化と浸潤形質獲得との関連性
平25		筆宝 義隆	国立がん研究センター研究所	ユニット長	マウス初代培養細胞を用いた難治がん発がん再構成系の確立
平25		藤田 直也	(財)がん研究会がん化学療法センター	副所長	臨床検体からの細胞株樹立を通じた、がん分子標的治療薬に対する耐性化機構の解明と新規治療法・併用療法の開発
平25		毎田 佳子	国立がん研究センター研究所	ユニット長	テロメラーゼの新機能によるがん細胞におけるRNA発現制御機構の解明
平25		前川 平	京都大学大学院	教授	低酸素ニッチに潜む白血病幹細胞をターゲットにした新規治療法の開発
平25		松下 博和	東京大学医学部附属病院	特任助教	腎がん固有抗原を用いた個別化がんワクチン治療の開発
平25		光武 範吏	長崎大学原爆後障害医療研究所	准教授	個人発がんリスク評価のための大規模データベース構築と新リスク評価技術の開発

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平25		谷内田 真一	国立がん研究センター研究所	ユニット長	希少がん克服に向けた大規模ゲノム解析
平25		山田 泰広	京都大学iPS細胞研究所	教授	細胞分化維持機構破綻を背景とした発がんモデル作製とその発がんメカニズムの解明
平24	2013・2・22	井垣 達吏	神戸大学大学院	准教授	細胞老化による腫瘍悪性化促進機構の遺伝学的解析
平24		石坂 幸人	国立国際医療研究センター	部長	「内在性レトロエレメントの遮断による発がん阻止」に関する研究
平24		井上 正宏	大阪府立成人病センター研究所	部長	癌細胞塊初代培養法を用いた大腸癌肝転移メカニズムの解析
平24		猪子 誠人	愛知県がんセンター研究所	主任研究員	癌細胞の一次線毛形成能の欠失に着目した新規がん治療開発に向けての基礎研究
平24		伊原 伸治	国立遺伝学研究所	助教	ライブイメージングを用いた細胞浸潤機構の遺伝学的解析
平24		今泉 和則	広島大学大学院	教授	小胞体ストレス応答システムを応用した癌治療戦略の開発
平24		熊谷 信二	産業医科大学	准教授	印刷労働者における胆管癌の発症状況の把握と原因物質の同定
平24		河野 隆志	国立がん研究センター研究所	分野長	ゲノム解析に基づく本邦肺腺がんの新規治療標的分子の探索
平24		小松 浩子	慶應義塾大学	教授	胸部食道がん術後の「退院後の生活」に安心と自信をもたらす患者指導法の開発
平24		清水 重臣	東京医科歯科大学	教授	オートファジー細胞死の変調による発癌機構の解析とこれを基盤とした癌治療法の開発
平24		醍醐 弥太郎	滋賀医科大学	教授	難治固形がんの病勢制御と健康寿命延長に寄与する個別化免疫療法の開発研究
平24		高橋 暁子	(財)がん研究会がん研究所	主任研究員	老化細胞分泌蛋白(SASP因子)による発癌を制御する試み
平24		高橋 智	筑波大学	教授	多発性骨髄腫発症におけるTh17細胞が果たす役割と疾患モデルの開発
平24		津田 洋幸	名古屋市立大学	特任教授	血清中マクロファージ炎症性タンパク質Mip1 α のアスベスト曝露および悪性中皮腫マーカーとしての有用性の研究
平24		中川 英刀	理化学研究所	チームリーダー	肝内胆管細胞癌の全ゲノム解析と肝ステム細胞からの分化機構の解明
平24		中山 敬一	九州大学	主幹教授	鉄代謝制御システムの破綻による肝臓がん発症メカニズムの解明と治療法の開発
平24		宮本 新吾	福岡大学	教授	HB-EGF標的治療薬BK-UMの感受性に反応するmicroRNAの探索・同定
平24		安川 正貴	愛媛大学大学院	研究科長・医学部長・教授	白血病幹細胞根絶を目指した新規免疫遺伝子治療の開発研究
平24		安永 晋一郎	広島大学	准教授	MLL遺伝子転座を持つ白血病幹細胞に対する分子標的療法の開発
平24		渡邊 聡明	東京大学大学院	教授	炎症性腸疾患関連発癌(colitic cancer)における活性酸素、mTORおよびオートファジーの役割の解明

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平23	2012・2・22	青木 正博	愛知県がんセンター研究所	部長	大腸癌の浸潤に関与する腫瘍細胞由来分泌因子の同定
平23		大塚 基之	東京大学医学部附属病院	助教	C型慢性肝炎からの肝癌発症感受性遺伝子MICAを標的とするmicroRNAの発現制御による新規の肝癌の発症予防法と治療法の開発
平23		北山 丈二	東京大学医学部附属病院	准教授	進行直腸癌に対する免疫放射線療法に関する基礎的検討
平23		真田 昌	東京大学医学部附属病院	特任助授	RNAスプライシング異常に伴う骨髄異形成症候群の発症メカニズムの解明
平23		梶村 春彦	浜松医科大学	教授	CDH1の生殖細胞系列コピー数変異による、日本人胃がん感受性の研究
平23		鈴木 淳史	九州大学	准教授	肝細胞がんの新規研究モデルの開発
平23		都築 忍	愛知県がんセンター研究所	室長	白血病の”前駆”がん幹細胞を標的とした、治療法・予防法の開発
平23		十時 泰	国立がん研究センター研究所	ユニット長	Ultra deep sequenceと新たな情報解析ツール開発によるがんの多様性の解明 ―治療に関連したがんの多様性・進化をゲノム情報解析から解く―
平23		中村 卓郎	(財)がん研究会がん研究所	部長	セルターゲッティングによるEwing肉腫動物モデルの作製と発症機構の解析
平23		中山 俊憲	千葉大学大学院	教授	ヒトNKT細胞による抗腫瘍免疫誘導機構の解析
平23		丹羽 透	国立がん研究センター研究所	研究員	腸内細菌叢が大腸上皮エピゲノムに及ぼす影響の解析
平23		野村 幸世	東京大学大学院	准教授	多領域癌スクリーニングマーカーとしての血清Trefoil Factor Family 3 (TFF3)の有用性の検討
平23		三浦 典正	鳥取大学	准教授	hsa-mir-520d単独導入による癌細胞の幹性誘導による正常細胞化と医薬開発
平23		三善 英知	大阪大学大学院	教授	糖鎖を使った膵がんに対する新しい診断・治療法開発のための基礎的検討
平23		武藤 倫弘	国立がん研究センター研究所	ユニット長	ミスマッチ修復遺伝子異常を伴う大腸粘液がんに対する糖脂質代謝の寄与とその細胞特性の解明
平23		村上 英樹	金沢大学	准教授	免疫療法が同時に可能な新しい脊椎癌根治手術の開発
平23		森 誠一	(財)がん研究会がん研究所	主任研究員	漿液性卵巣がんにおける上皮間葉転換の責任遺伝子の同定とその治療への応用
平23		守本 祐司	防衛医科大学校	准教授	病変特異的集積を示す光応答型超分子と内視鏡下マルチスペクトル画像解析システムを用いた難治性がんの超早期診断・治療
平23		米澤 傑	鹿児島大学大学院	教授	ムチン分子発現様式を利用した膵胆管系癌の早期質的診断システムの構築
平23		渡邊 嘉行	聖マリアンナ医科大学	講師	内視鏡検査時に発生する「廃液」を用いた環境にやさしい胃がん超早期診断法の開発
平22	2011・2・22	荒木 淳	東京大学	特任臨床医	Super-microsurgeryを用いた同種肛門移植研究 ～肛門部癌切除後患者のQOL向上～
平22		飯田 拓也	東京大学医学部附属病院	助教	がん切除後欠損の再建にむけた超微細血管吻合を用いた同種複合組織移植法の開発と機能評価

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平22		石井 秀始	九州大学生体防御医学研究所	特任准教授	安全で革新的な細胞再プログラム法の開発
平22		石内 勝吾	琉球大学大学院	教授	神経膠芽腫の階層的構築の解明 ―発生母細胞から浸潤最先端細胞までの細胞系譜学的解析
平22		片桐 豊雅	徳島大学	教授	新規エストロゲン依存性乳癌増殖機構の解明と革新的治療薬の創製
平22		清野 透	国立がん研究センター研究所	部長	ヒト正常膵管上皮細胞を用いた人工膵がん幹細胞の樹立と同細胞を標的とした治療標的分子の検索
平22		近藤 英作	愛知県がんセンター研究所	部長	難治性がんとしての膵がんを標的とするペプチドツールによる新しい医療技術の開発研究
平22		柴田 龍弘	国立がん研究センター研究所	分野長	肺がんのトランスクリプトーム解読によって同定した新規キナーゼ融合遺伝子の機能解析と分子標的治療への展開
平22		渋谷 潔	国保松戸市立病院	部長	Endo-Cytoscopy Systemによる新しい生体内顕微内視鏡を用いた気管支dysplasiaの自然史解析
平22		田中 耕三	東北大学加齢医学研究所	准教授	新規分子CAMPの異常による染色体不安定性の発生機構の解明
平22		田中 知明	千葉大学大学院	助教	次世代型がん創薬標的検索を目指した分子間架橋技術応用による癌抑制遺伝子p53のクロマチンとエピゲノム機能制御の基盤的研究
平22		千葉 勉	京都大学大学院	教授	炎症発癌における遺伝子変異導入機構についての研究 - Activation-induced cytidine deaminase(AID)の役割の解明を中心に
平22		豊國 伸哉	名古屋大学大学院	教授	アスベスト誘発発がん機構の解明とその早期診断・予防への応用
平22		中川 英刀	理化学研究所	チームリーダー	遺伝子多型解析による前立腺癌の診断バイオマーカーの開発
平22		西村 泰治	熊本大学大学院	教授	理想的な新規がん抗原とiPS細胞由来の樹状細胞を利用したがん免疫療法の開発
平22		平岡 伸介	国立がん研究センター研究所	室長	ヒト膵がんの免疫微小環境
平22		藤田 雅俊	九州大学大学院薬学研究院	教授	培養細胞系において選択的殺がん作用を持つCdt1-geminin結合阻害性化合物Yを用いた抗がん剤開発
平22		益谷 美都子	国立がん研究センター研究所	部長	PARP-PARG経路を標的とする制がん法の基盤確立と効果規定因子の研究
平22		室伏 きみ子	お茶の水女子大学大学院	教授	脂質メディエーター・環状ホスファチジン酸(cPA)によるがんの浸潤・転移と痛みの抑制
平22		湯浅 保仁	東京医科歯科大学大学院	教授	未分化型胃がんのマウスモデルの解析
平21	2010・2・23	秋山 泰身	東京大学医科学研究所	准教授	胸腺のT細胞選択機構を利用したがん免疫強化と医薬品検索の基礎的検討
平21		石川 冬木	京都大学大学院	教授	がんの悪性化におけるテロメア機能異常の役割
平21		石田 高司	名古屋市立大学大学院	講師	悪性リンパ腫に対する抗CCR4抗体治療のリバーストランスレーショナルリサーチによる至適治療法の確立
平21		植村 靖史	関西医科大学大学院	講師	多能性幹細胞由来の樹状細胞を用いてGVHDおよびGVL応答を制御する新たな医療技術の開発
平21		依馬 正次	筑波大学	講師	アザチロシンによるがん細胞の増殖抑制制御の分子機構の解明

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平21		北林 一生	国立がんセンター研究所	部長	白血病幹細胞を標的とした新たな治療法の開発
平21		堺 隆一	国立がんセンター研究所	部長	がん転移の臓器特異性におけるp130Cas蛋白質およびCDCP1蛋白質の役割
平21		清水 律子	東北大学大学院	教授	白血病自然発症マウスを用いた多段階発がんメカニズムの解析
平21		梶村 春彦	浜松医科大学	教授	本邦の家族性胃がんで見つかった遺伝子変異の機能解析
平21		高井 義美	神戸大学大学院	教授	接着分子ネクチンとその類似分子を標的としたがんの診断法と治療法の開発への基礎研究
平21		竹内 賢吾	(財)癌研究会癌研究所	研究員	病理組織学を用いた独自の方法を基盤とした固形がんにおける新規チロシンキナーゼ融合遺伝子の同定
平21		田中 信之	日本医科大学老人病研究所	教授	炎症誘発がんの発生におけるIL-6-Stat3-グルコース代謝制御経路の役割
平21		土原 一哉	国立がんセンター東病院臨床開発センター	室長	運動による代謝異常改善・発がん予防の生物学的基盤の構築
平21		豊田 実	札幌医科大学	教授	エピゲノム解析による進行大腸がんのオリジン解明
平21		中西 真	名古屋市立大学大学院	教授	クロマチン修飾を介した早期細胞老化誘導機構の解明
平21		萩原 弘一	埼玉医科大学	教授	非小細胞肺がん実臨床検体におけるEGFR, EML4-ALK全数同時測定 の基盤整備と前向き研究
平21		丸澤 宏之	京都大学大学院	助教	炎症からの発がんモデルマウスを用いた肝がん発生機序の解明
平21		本橋 ほづみ	東北大学大学院	准教授	がん幹細胞における酸化ストレスの影響とKeap1/Nrf2制御系の機能貢 献に関する研究
平21		山田 康秀	国立がんセンター中央病院	医長	内視鏡生検組織を用いた抗がん剤の感受性予測に関する研究
平21		山本 匠	東京大学	主任研究代表	ICGリンパ管造影によるリンパ浮腫の早期診断と重症度評価
平20	2009・2・24	石川 治	大阪府立成人病センター	病院長	膵癌に対する新しい術前化学放射線治療と微小癌遺残の術中 real-time 可視化・検出に関する臨床研究
平20		伊地知 秀明	東京大学医学部附属病院	助教	遺伝子改変膵発癌マウスモデルを用いた膵癌発癌機序の解明
平20		井上 純一郎	東京大学医科学研究所	教授	難治性乳癌における転写因子 NF- κ B 恒常的活性化の分子機構と 癌悪性化における役割解明
平20		今井 陽一	東京大学医学部附属病院	講師	生体イメージングに基づく骨髄微小環境における白血病幹細胞の動 態の解析
平20		菊池 章	広島大学大学院	教授	Wnt5a の過剰発現による癌の悪性化の分子機構
平20		後藤 英仁	愛知県がんセンター研究所	室長	細胞がん化における分裂期キナーゼPolo-like kinase 1 (Plk1)の役 割
平20		柴田 龍弘	国立がんセンター研究所	プロジェクトリー ダー	新規がん遺伝子 Nrf2 の発見を起点とした新しい発がん分子機構の 解明とがん治療への応用

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平20		渋谷 彰	筑波大学大学院	教授	DNAM-1(CD226)による癌免疫監視
平20		高橋 真美	国立がんセンター研究所	室長	動物モデルにおける高脂肪食及びアルコール摂取の膵臓がん促進効果の解析
平20		田中 伸幸	宮城県立がんセンター研究所	部長	ユビキチン依存性小胞輸送によるがん制御
平20		千葉 滋	筑波大学大学院	教授	ヒト造血細胞を用いた慢性骨髄性白血病の再構築
平20		津田 均	国立がんセンター中央病院	室長	トリプルネガティブ乳癌における化学療法反応性予測マーカーの同定と治療標的分子の探索
平20		坪井 康次	筑波大学人間総合科学研究科	教授	がんに対する陽子線照射と腫瘍免疫融合療法に関する基礎的研究
平20		中面 哲也	国立がんセンター東病院	室長	臨床試験による癌抗原ペプチドワクチンの有効性の検証
平20		濱谷 清裕	(財)放射線影響研究所	室長	放射線発がんの分子機構-原爆被爆者の結腸がん及び甲状腺乳頭がんについて-
平20		原 英二	(財)癌研究会癌研究所	部長	細胞老化の2面性(発がん防御と発がん促進)を規定する分子基盤の解明
平20		丸 義朗	東京女子医科大学	教授	病原体センサーの新規内因性リガンドを標的とする転移抑制機構の解明
平20		谷田部 恭	愛知県がんセンター中央病院	部長	肺腺癌における分子生物学的分類の検討
平20		山田 亮	久留米大学先端癌治療研究センター	教授	マルチペプチド混合がんワクチンの開発基礎研究:ポストテラーメイドワクチンの開発
平20		米田 俊之	大阪大学大学院	教授	がん骨転移による骨痛におけるプロトン感受性受容体 TRPV1 の関与
平19	2008・2・22	今村 健志	(財)癌研究会癌研究所	部長	インビボ蛍光イメージングを利用した癌骨転移におけるBMPの作用機序の解明
平19		杉原 一廣	浜松医科大学	准教授	悪性腫瘍血管内皮細胞を標的とする分子標的治療薬
平19		高橋 隆	名古屋大学大学院医学系研究科	教授	マイクロRNA発現異常からみたヒト肺癌の発生・進展の分子病態
平19		竹田 和由	順天堂大学医学部	准教授	細胞死誘導と免疫活性化による癌治療と拒絶メカニズムの解析
平19		富田 真理子	琉球大学大学院	助教	ヒトT細胞白血病ウイルス1型の潜伏感染維持におけるマイクロRNAの役割
平19		中村 栄男	名古屋大学大学院医学系研究科	教授	加齢性EBV関連リンパ増殖異常症の臨床病理学のおよび、免疫学的研究
平19		服部 豊	慶應義塾大学	講師	難治性造血器腫瘍に対するポストサリドマイド世代の画期的治療法の開発
平19		松村 保弘	国立がんセンター東病院	部長	がん治療におけるドラッグデリバリーシステムの開発
平19		間野 博行	自治医科大学	教授	新規肺がん原因遺伝子EML4-ALKの機能解析と臨床応用

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平19		三浦 雅彦	東京医科歯科大学大学院	准教授	放射線療法と腫瘍血管の老化に関する研究
平19		安井 弥	広島大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	SAGE法とCAST法による消化器癌の新規診断・治療標的の同定
平19		吉村 昭彦	九州大学	教授	炎症シグナルの制御と発癌
平18	2007・2・28	新井 郷子	東京大学大学院医学系研究科	助手	新しいポリコム分子 MBT-1 による白血病制御を目指して
平18		及川 恒之	北海道医療大学	教授	PU.1およびGfi-1Bがん遺伝子産物の相互作用と血液細胞の分化・がん化
平18		大西 ゆかり	四国がんセンター	看護師	リンパ浮腫を発症した患者のセルフケア方法の開発
平18		木村 晋也	京都大学医学部附属病院	講師	薬剤耐性に関わる点突然変異全自動測定機器を用いた、慢性骨髄性白血病患者に対するテーラーメイド治療法の構築
平18		葛島 清隆	愛知県がんセンター研究所	部長	EBウイルス陽性癌に対する免疫療法の構築研究
平18		河野 隆志	国立がんセンター研究所	室長	ヒトがん治療の標的となるDNA切断修復経路の解明
平18		中島 淳	横浜市立大学附属病院	部長	Wnt/ β -catenin 経路を標的とした大腸がん化学予防のためのトランスレーショナルリサーチ
平18		広田 亨	(財)癌研究会癌研究所	部長	分裂期キナーゼによる染色体の制御機構
平18		二口 充	名古屋市立大学大学院医学研究科	講師	前立腺癌骨転移巣を促進するTGF β をMMP13が活性化するメカニズムの解明と、これに基づく骨転移進展の阻止
平18		山田 哲司	国立がんセンター研究所	部長	プロテオーム解析による大腸癌の発生と浸潤・転移機構の解明と治療標的の同定
平17	2006・2・28	石川 雄一	(財)癌研究会癌研究所	部長	肺がんの個別化診断 - Bench to Bed
平17		鎌田 恭輔	東京大学医学部	助手	脳機能統合型ニューロナビゲーションと脳皮質-白質機能モニタリング融合によるfunctional neurosurgeryの確立
平17		黒川 峰夫	東京大学大学院	教授	腫瘍幹細胞による白血病発症機構の解明
平17		後藤 由季子	東京大学	教授	原癌遺伝子Aktによる細胞生存促進と癌化のメカニズム
平17		笹野 公伸	東北大学大学院	教授	ヒト肺癌での組織内エストロゲン産生と作用機序
平17		高橋 智聡	京都大学大学院	助教授	多重変異マウスの解析からヒト発がん・転移メカニズムの解明へ
平17		田原 栄俊	広島大学	助教授	G-tailをターゲットにした抗癌剤の開発
平17		土屋 直人	国立がんセンター研究所	研究員	microRNAを介するSND1/p100によるがん細胞の運動能及び転移の制御に関する研究
平17		安友 康二	徳島大学大学院	教授	Notch分子を制御することによる癌免疫療法の開発

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平17		吉田 緑	(財)佐々木研究所	主任研究員	ラットモデルを用いた子宮体部癌の進展および悪性化に関する研究
平16	2005・2・22	秋山 徹	東京大学分子細胞生物学研究所	教授	癌抑制遺伝子APCの機能
平16		荒瀬 尚	大阪大学微生物病研究所	助教授	新規NK細胞レセプターと腫瘍リガンドの解明による抗腫瘍免疫療法の開発
平16		岡本 圭生	滋賀医科大学	助手	ヒト精巣腫瘍のエピジェネティックスを利用した新規腫瘍マーカーの開発
平16		落合 淳志	国立がんセンター研究所支所	部長	ホルモン依存性がん細胞の骨特異的転移機構の解明と治療法の開発
平16		鈴木 健司	国立がんセンター中央病院	医員	早期肺癌に対する縮小切除の適応に関する研究
平16		高野 徹	大阪大学大学院	講師	甲状腺腫瘍の穿刺吸引核酸診断法の確立
平16		高橋 雅英	名古屋大学大学院	教授	RET癌遺伝子による臓器特異的発癌の分子機構と治療法の開発研究
平16		寺町 芳子	大分大学	助手	がん患者の意思決定に影響を及ぼす悪い知らせを伝える際の医療者の態度および援助の実際
平16		中尾 昭公	名古屋大学大学院	教授	変異単純ヘルペスウイルス(HF10)を用いた癌治療
平16		浜島 信之	名古屋大学大学院	教授	大腸腺腫患者に対するアスピリン投与の効果と遺伝子型に関する研究
平16		松浦 成昭	大阪大学大学院	教授	新しい分子生物学的手法を用いた癌転移の高感度迅速診断法の開発と微小転移の意義の解明
平15	2004・2・23	江角 浩安	国立がんセンター研究所支所	支所長	がん細胞の栄養飢餓耐性のメカニズムとこれを標的とした治療薬の開発
平15		久保 肇	京都大学大学院	特任助教授	腫瘍リンパ管新生の分子機構解明とその制御によるがんリンパ節転移の抑制
平15		瀬戸 加大	愛知県がんセンター研究所	部長	粘膜関連リンパ組織(MALT)リンパ腫の病因と病態に関与する遺伝子の解析
平15		高岡 晃教	東京大学	講師	p53を中心とした抗腫瘍シグナルの解析とその応用
平15		西村 孝司	北海道大学遺伝子病制御研究所	教授	Th1主導免疫の重要性とその癌ワクチン細胞治療への応用に関する研究
平15		畠山 昌則	北海道大学遺伝子病制御研究所	教授	遺伝子改変マウスを用いたピロリ菌由来胃発癌関連因子CagAの解析
平15		羽瀧 友則	秋田大学	教授	前立腺癌における内分泌療法抵抗性の予知とその克服を目的とした遺伝子多型解析
平15		山下 聡	国立がんセンター研究所	研究員	発がん物質に対する初期応答を細胞が記憶する可能性の検討
平15		山本 博幸	札幌医科大学	助手	β -カテニン変異によるマイクロサテライト不安定性消化器癌の発癌・進展機構の解析
平15		矢守 隆夫	(財)癌研究会癌化学療法センター	部長	抗がん剤感受性に関わるがん細胞プロテオームの解析

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平14	2003・2・22	飯田 真介	名古屋市立大学大学院	講師	多発性骨髄腫発症に関わる分子機構の解明と治療標的分子の探索
平14		井上 聡	東京大学医学部附属病院	講師	ホルモン依存性の蛋白分解経路を標的とした新しい乳癌治療法の開発
平14		鈴木 聡	秋田大学	教授	癌抑制遺伝子PTENの各種臓器における機能解析
平14		高橋 克仁	大阪府立成人病センター	部長	次世代ヘルペスウィルス複製・発現ベクターを用いた難治性肉腫に対する新しい標的治療法の開発
平14		豊田 実	札幌医科大学	助手	大腸癌におけるエピジェネティックな異常の網羅的解析
平14		中尾 光善	熊本大学発生医学研究センター	教授	癌細胞におけるエピジェネティクスと細胞核構造の異常の分子機構
平14		野田 亮	京都大学	教授	転移抑制遺伝子RECKの機能解析とがん診療への応用
平14		福田 博政	国立がんセンター研究所	室長	G-richな単純反復DNA配列を有するゲノム領域の安定化におけるUPI蛋白質の関与に関する研究
平14		森 正樹	九州大学生体防御医学研究所	教授	新規癌抑制遺伝子FHITを用いた癌の新しい治療法の開発
平14		山本 雅	東京大学医科学研究所	教授	ヒトがんにおける細胞増殖抑制性Tob遺伝子の発現制御
平13	2002・2・22	荒川 博文	国立がんセンター研究所	部長	p53標的遺伝子の単離・機能解析とがん治療法開発への応用
平13		神奈木 真理	東京医科歯科大学	教授	成人T細胞白血病の発症予防に関する研究
平13		小松 賢志	広島大学原爆放射能医学研究所	教授	DNA二重鎖切断によるゲノム不安定化とNBS1蛋白機能
平13		瀬谷 司	大阪府立成人病センター研究所	所長	微生物成分と自然免疫による抗がん免疫療法の確立に向けて
平13		高倉 伸幸	金沢大学	教授	TIE2レセプター型チロシンキナーゼの機能制御による腫瘍血管新生抑制の研究
平13		高村 岳樹	国立がんセンター研究所	研究員	DNAのモノADPリボシル化により誘発されるアポトーシス及び突然変異原性に関する研究
平13		高山 哲治	札幌医科大学	講師	GST- π を標的とした大腸癌の化学予防
平13		中江 大	(財)佐々木研究所	部長	ラットにおけるフリーラジカルの関与する肝発癌分子機構の解明に関する研究
平13		長谷川 博	茨城県立中央病院	名誉院長	超早期膀胱癌発見のために開発した特殊CTマツと画像処理法の普及
平13		本田 浩章	広島大学原爆放射能医学研究所	教授	慢性骨髄球性白血病の急性転化に関わる遺伝子の包括的解析と治療への応用
平12	2001・2・22	伊東 文生	札幌医科大学	講師	高悪性度胃癌における染色体不安定性とDNAメチル化による14-3-3 σ 遺伝子不活化との関連についての研究
平12		上野 光	産業医科大学	教授	腫瘍血管新生抑制分子および細胞外マトリクス制御分子を用いた癌の遺伝子治療法の開発

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平12		牛島 俊和	国立がんセンター研究所	部長	MNNGによる胃発がんを高感受性及び抵抗性を示すラット2系統の幽門粘膜で発現量が異なる遺伝子の網羅的な単離
平12		神田 忠仁	国立感染症研究所	室長	ヒトパピローマウイルス感染予防ワクチンの開発
平12		佐治 重豊	岐阜大学医学部	教授	乳癌におけるエストロゲンレセプター α 、 β の新たな評価法の確立と治療への応用
平12		杉山 治夫	大阪大学医学部	教授	WT1タンパクを標的にした、白血病の免疫療法の開発
平12		立松 正衛	愛知県がんセンター研究所	部長	Helicobacter pylori感染の胃がん発生過程における作用機構
平12		三谷 絹子	獨協医科大学	教授	12p13転座型白血病の分子機構の解析
平12		山泉 克	熊本大学発生医学研究センター	教授	複製と共役して働くDNA修復機構の主役、hRad18の機能調節
平12		山崎 洋	関西学院大学理学部	教授	細胞間ネットワーク調節と細胞増殖制御
平11	2000・2・22	伊藤 和幸	大阪府立成人病センター研究所	主任研究員	低分子量G蛋白質Rho/Rho-kinase系を介する腫瘍細胞の浸潤(接着と運動)の制御
平11		稲垣 昌樹	愛知県がんセンター研究所	部長	細胞質分裂における細胞骨格の制御機構(癌細胞における多核細胞形成のメカニズム)の解明
平11		稲葉 俊哉	自治医科大学	講師	癌原性Rasに制御されたBim/ダイニン軽鎖複合体の発がんへの関与
平11		川森 俊人	国立がんセンター研究所	室長	大腸発がんにおけるプロスタノイド受容体の役割
平11		菊池 章	広島大学医学部	教授	Wntシグナル伝達経路の異常による発癌の分子機構
平11		河野 公俊	産業医科大学医学部	教授	癌細胞におけるY-box 結合蛋白YB-1の機能解析と発現制御
平11		中村 卓郎	(財)癌研究会癌研究所	部長	白血病原因キメラ遺伝子 <i>NUP98-HOXA9</i> 、 <i>NUP98-PMX1</i> の機能解析
平11		松田 道行	国立国際医療センター研究所	部長	RasファミリーG蛋白Rap2の機能および制御機構の解析
平11		松本 邦夫	大阪大学大学院医学系研究科	助教授	腫瘍血管新生阻止ならびに浸潤・転移阻止能をもつ2面性生理活性物質HGF/NK4による制癌研究
平11		八木田 秀雄	順天堂大学医学部	助教授	細胞障害性リンパ球による標的細胞破壊機構の解明およびその制御
平10	1999・2・28	安達 正晃	札幌医科大学医学部	講師	アポトーシスによる癌転移の制圧
平10		川畑 正博	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	Transforming Growth Factor- β (TGF- β) による癌抑制作用の分子機構の研究
平10		佐々木 博己	国立がんセンター研究所	室長	がんにおける遺伝子増幅ユニットの構造解析とその分子機構の解明
平10		珠玖 洋	三重大学医学部	教授	癌遺伝子産物由来ペプチドの癌抗原としての同定とそれを用いた癌治療

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平10		高田 賢蔵	北海道大学医学部	教授	EBウイルスによる発癌機構の研究
平10		田矢 洋一	国立がんセンター研究所	室長	p53とRB蛋白質のリン酸化の生理的意義の研究
平10		直江 知樹	名古屋大学医学部	助教授	白血病進展に関与するFLT3異常分子の生物学的意義の解明
平10		中尾 光善	熊本大学医学部	助手	がん関連蛋白質の分解による腫瘍発生機構の解明
平10		中釜 斉	国立がんセンター研究所	部長	発がんにおけるゲノム不安定化の新しい機構に関する研究—ミニサテライト反復配列を介するゲノム不安定化の解析
平10		渡邊 武	九州大学生体防御医学研究所	教授	免疫細胞に増殖抑制・細胞死を誘導する新たな腫瘍抗原 (RCAS1) の機能解析
平09	1998・2・28	稲澤 譲治	東京大学医科学研究所	助教授	分子細胞遺伝学的アプローチによる癌のゲノム異常解析と新規癌関連遺伝子の単離
平09		神奈木 玲児	愛知県がんセンター研究所	部長	細胞の悪性化に伴う異常糖鎖発現の転写制御機構
平09		小西 陽一	奈良県立医科大学	教授	アポトーシスを指標とする膵癌進展阻止物質の検索
平09		斎藤 政樹	北海道大学医学部	教授	ガングリオシドGM3合成酵素(シアリルトランスフェラーゼ1) 遺伝子の癌における発現機構解明とその情報の制癌への応用
平09		佐藤 孝明	理化学研究所	主任研究員	ガン細胞における細胞死回避のメカニズムに関する基礎研究
平09		佐谷 秀行	熊本大学医学部	教授	ショウジョウバエ癌抑制遺伝子のヒト相同遺伝子の同定とその機能解析
平09		藤 也寸志	国立病院九州がんセンター臨床研究部	室長	癌の浸潤転移の分子機構の解明; 新しい癌転移関連遺伝子 mta1 に関する基礎的研究
平09		豊島 秀男	(財)東京都臨床医学総合研究所	室長	細胞周期の進行においてG1サイクリン・CDK複合体のリン酸化標的となる新たな細胞周期制御因子の同定
平09		益谷 美都子	国立がんセンター研究所	室長	ジーンターゲティングによるポリ(ADP-リボース)合成酵素の機能解析
平09		三木 義男	(財)癌研究会癌研究所	部長	乳癌関連遺伝子の単離とそれらを用いた遺伝子診断の確立
平08	1997・2・22	上田 龍三	名古屋市立大学医学部	教授	造血器腫瘍におけるゲノム不安定性に関する研究
平08		小守 壽文	大阪大学医学部	助手	コンディショナル遺伝子破壊による発がん機構の解析
平08		田中 信之	東京大学医学部	助教授	癌抑制遺伝子 IRF-1 及び p53 による癌化・細胞周期・細胞死の制御機構の解析
平08		津田 洋幸	国立がんセンター研究所	部長	ヒトHa-ras 遺伝子導入ラットにおける発がん感受性の解析と発がんならびにがん予防物質早期検索法への応用
平08		時野 隆至	東京大学医科学研究所	助教授	癌抑制遺伝子 p53 によって発現制御される新規の遺伝子群の機能解析
平08		戸口田 淳也	京都大学生体医療工学研究センター	助教授	骨肉腫における癌抑制遺伝子の不活化と発癌機構の解析

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平08		徳久 剛史	千葉大学医学部	教授	BCL6 遺伝子欠損マウスに見られた終末分化細胞死とそのリンパ球腫瘍化機構の解析
平08		畠山 昌則	(財)癌研究会癌研究所	部長	細胞増殖シグナル伝達におけるレチノブラストーマ癌抑制遺伝子産物(pRB)の役割
平08		的崎 尚	神戸大学医学部	助手	チロシンホスファターゼ SHP-2 の標的基質蛋白質 SHPS-1 に関する研究
平08		山下 克子	(財)佐々木研究所	部長	細胞周期依存的糖鎖合成制御異常の分子生物学的背景
平08		湯浅 保仁	東京医科歯科大学医学部	教授	TGF- β 系遺伝子の解析による大腸発癌機構の解明
平08		渡辺 雅彦	国立がんセンター研究所	室長	モンシロチョウに存在するがん細胞傷害性因子(ピエリシン)の同定とその作用機構の解明
平07	1996・2・22	今岡 真義	大阪府立成人病センター	外科部長	微小・潜在膵癌の診断体系の確立と膵分割切除術の開発
平07		牛島 俊和	国立がんセンター研究所	室長	MNNG (<i>N</i> -methyl- <i>N'</i> -nitro- <i>N</i> -nitrosoguanidine)によるラット胃発がんに対する感受性を決定する染色体座位の同定
平07		海老原 敏	国立がんセンター東病院	院長	機能温存を目指した頭頸部がんの外科療法
平07		小田 秀明	東京大学医学部	助教授	p53遺伝子欠損マウスにおける経胎盤ENU投与による脳腫瘍の解析
平07		佐藤 昇志	札幌医科大学医学部	助教授	ヒト癌拒絶抗原ペプチドの決定と特異的癌免疫治療への応用
平07		野瀬 清	昭和大学薬学部	教授	細胞老化および分化に関与する新規遺伝子(HIC-5)の作用機構の解析
平07		広瀬 雅雄	名古屋市立大学医学部	助教授	ヘテロサイクリックアミン発癌の化学予防に関する実験的研究
平07		古川 龍彦	鹿児島大学医学部	助手	チミジンフォスホリラーゼ阻害剤による腫瘍増殖抑制効果の検討
平07		南 康博	神戸大学医学部	助教授	血液・免疫系細胞の増殖および細胞死の分子機構の解析
平07		宮園 浩平	(財)癌研究会癌研究所	部長	TGF- β レセプターのシグナル伝達機構と発癌機構の研究
平06	1995・2・22	明渡 均	大阪府立成人病センター研究所	所長	浸潤、転移の分子機構の解析と転移の予防法の開発
平06		江見 充	日本医科大学老人病研究所	教授	家族性乳癌および散发性乳癌の遺伝子診断
平06		加藤 洋	(財)癌研究会癌研究所	部長	遺伝子情報と形態学を総合したがん個性診断学の確立
平06		清木 元治	金沢大学がん研究所	教授	膜型マトリックスメタロプロテイナーゼの癌浸潤における役割の解析
平06		田島 和雄	愛知県がんセンター研究所	部長	ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV)の予防介入研究とその国際比較
平06		長田 重一	(財)大阪バイオサイエンス研究所	部長	Fas, Fasリガンドを介したアポトーシスの分子機構

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平06		松居 靖久	東北大学加齢医学研究所	助教授	癌原遺伝子c-kitの発現異常と精巣性テラトーマ発症の関係の解析
平06		森 秀樹	岐阜大学医学部	教授	大腸発癌予防物質の早期検出と大腸発癌プログレッションの抑制に関する研究
平06		山口 建	国立がんセンター研究所	部長	ホルモン前駆体を利用する肺小細胞がん腫瘍マーカーの開発
平06		若林 敬二	国立がんセンター研究所	部長	発がん性ヘテロサイクリックアミンのヒト曝露量に関する研究
平05	1994・2・22	秋山 伸一	鹿児島大学医学部	教授	チミジンホスホリラーゼによる血管新生の機構
平05		権藤 洋一	九州大学生体防御医学研究所	講師	発がんリスクを鋭敏迅速に評価できるトランスジェニックマウスの開発
平05		下山 正徳	国立がんセンター中央病院	副院長	人がん細胞培養株の抗がん剤耐性・薬剤感受性を指標にした新抗がん剤の臨床効果予測法と耐性克服法の開発研究
平05		白井 智之	名古屋市立大学医学部	助教授	実験的前立腺がんの多段階的発育とその修飾に対する分子病理学的研究
平05		野村 大成	大阪大学医学部	教授	改良SCIDマウスを用いたヒト良性腫瘍、前癌病変の特性と悪性化に関する研究
平05		広橋 説雄	国立がんセンター研究所	副所長	がんの浸潤・転移における細胞接着分子の役割の把握
平05		古川 鋼一	長崎大学医学部	助教授	癌特異的糖脂質抗原の発現機構
平05		松本 邦夫	大阪大学医学部	助手	HGFによる制癌作用と癌細胞宿主相関の分子機構の解析
平05		宮崎 香	横浜市立大学木原生物学研究所	助教授	マトリックスプロテアーゼとそのインヒビターの癌の診断・治療への応用
平05		吉田 龍太郎	(財)大阪バイオサイエンス研究所	部長	新しく見いだされた抗がん宿主細胞によるがん細胞の認識機構及びその誘導機構の解析とそれらの知見に基づいた新しいがん治療
平04	1993・3・1	秋山 徹	大阪大学微生物病研究所	助教授	癌抑制遺伝子産物の機能の解析
平04		阿部 薫	国立がんセンター東病院	病院長	本邦における緩和ケア病棟への入院適応とその運営のあり方
平04		今井 浩三	札幌医科大学	助教授	消化器癌における新しいチロシン脱リン酸化酵素遺伝子の解析とその応用
平04		今井 高志	(財)癌研究会癌研究所	研究員	多発性内分泌腺腫瘍症1型原因遺伝子の同定
平04		入村 達郎	東京大学薬学部	教授	ヒト大腸癌の転移性決定因子となる糖鎖抗原を介する細胞接着の研究
平04		上田 龍三	愛知県がんセンター研究所	部長	乳児及び二次性白血病に観察される新しい転座関連遺伝子の単離と臨床応用
平04		勝木 元也	九州大学生体防御医学研究所	教授	標的遺伝子置換法による個体発がんの研究
平04		川尻 要	埼玉県立がんセンター研究所	副部長	薬物代謝酵素の遺伝子多型に基づく遺伝的発癌高危険度群の同定
平04		小池 和彦	東京大学医学部	助手	トランスジェニックマウスを用いたB型肝炎ウイルスX遺伝子による肝発癌の機序の解明

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平04		菅村 和夫	東北大学医学部	教授	IL-2受容体の新たなサブユニットγ鎖の構造と機能
平04		浜田 洋文	(財)癌研究会癌化学療法センター	部長	遺伝子治療の基礎的研究: レトロウイルスベクターを用いた腫瘍壊死因子受容体関連遺伝子の発現による癌細胞増殖の抑制
平04		早津 彦哉	岡山大学薬学部	教授	食物由来のヒト排泄物中の変異原性に対するクロロフィリンの修飾作用
平04		山添 康	慶應義塾大学医学部	助教授	癌原物質を活性化するヒト肝スルホトランスフェラーゼの一次構造とその遺伝的多型の解析
平03	1992・2・22	相澤 慎一	理化学研究所ライフサイエンス筑波研究センター	副主任研究員	p53遺伝子欠失マウスでの個体発癌の解析
平03		井村 伸正	北里大学薬学部	教授	複数の抗がん剤に対する耐性獲得因子としてのメタロチオネインの意義
平03		押村 光雄	鳥取大学医学部	教授	染色体移入による胃がん抑制遺伝子のマッピングと機能に関する研究
平03		斎藤 泉	東京大学医科学研究所	助教授	遺伝子発現技術を用いたC型肝炎の新しい診断法の開発
平03		立松 正衛	愛知県がんセンター研究所	部長	系統特異的抗体によるキメラマウス腺胃発癌過程の解析
平03		谷口 維紹	大阪大学細胞工学センター	教授	DNA結合因子IRF-1及びIRF-2による細胞増殖調節機構の解析
平03		新津 洋司郎	札幌医科大学	教授	サイトカイン遺伝子を用いた癌遺伝子療法の開発
平03		野田 哲生	(財)癌研究会癌研究所	部長	マウスES細胞を用いての家族性大腸腺腫症モデルマウスの作成と解析
平03		羽倉 明	大阪大学微生物病研究所	教授	トランスジェニックマウスを用いたヒトパピローマウイルス(HPV16)E6E7遺伝子機能の研究
平03		丸山 圭一	国立がんセンター病院	医長	合理的な胃癌手術治療法の研究 特に、リンパ節郭清と周囲臓器合併切除について
平03		武藤 泰敏	岐阜大学医学部	教授	非環式レチノイドによる肝発癌抑制作用とその機構に関する研究
平03		渡辺 昌	国立がんセンター研究所	部長	多重がん発生に及ぼす遺伝的素因および治療の影響に関する研究
平02	1991・2・22	木村 成道	東京都老人総合研究所	主任研究員	癌転移、シグナル伝達とNDPキナーゼ
平02		葛巻 暉	北海道大学医学部	教授	癌細胞の造腫瘍性喪失に関わる遺伝子の解析
平02		坂元 吾偉	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	乳腺の潜伏癌と進展に関する研究
平02		下遠野 邦忠	国立がんセンター研究所	部長	非A非B型肝炎および肝がん由来のHCVゲノムの比較
平02		武市 紀年	北海道大学医学部	助教授	肝炎・肝癌自然発症LECラットの肝癌発生機序に関する分子病理学研究
平02		谷口 俊一郎	九州大学生体防御医学研究所	助教授	転移関連遺伝子の研究

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
平02		出川 雅邦	東北大学薬学部	助手	肝癌発生過程におけるチトクロームP-450アイソザイムの変動とその特徴
平02		成毛 韶夫	国立がんセンター病院	部長	気管・気管支形成術を応用した肺癌の治療に関する研究
平02		平井 久丸	東京大学医学部	講師	多段階白血病発症における癌遺伝子と癌抑制遺伝子の共同作用の解析
平02		福島 昭治	大阪市立大学医学部	教授	膀胱発癌の修飾に関する天然酸化防止剤の役割
平02		藤村 真示	千葉大学医学部	教授	N-ニトロソ化合物による実験胃癌誘発と胃グアニレートシクラーゼの活性化について
平02		宮村 達男	国立予防衛生研究所	室長	C型肝炎ウイルス遺伝子の情報発現と肝癌
平01	1990・2・22	伊庭 英夫	東京大学医科学研究所	助教授	新しく発見された <i>fos</i> 関連遺伝子、 <i>fra-2</i> の発癌性に関する研究
平01		桑野 信彦	大分医科大学医学部	教授	抗癌剤耐性の関連遺伝子の発現制御と耐性獲得の研究
平01		関谷 剛男	国立がんセンター研究所	部長	ヒトがん細胞における一本鎖DNA高次構造変化の解析
平01		田原 栄一	広島大学医学部	教授	食道癌・胃癌における増殖因子・レセプター系関連遺伝子の変化と異常発現の解析
平01		中村 祐輔	(財)癌研究会癌研究所	部長	家族性大腸腺腫症の原因遺伝子の単離
平01		平野 俊夫	大阪大学医学部	教授	インターロイキン6によって誘導される細胞増殖機構の解析
平01		藤井 義明	東北大学理学部	教授	DNA結合因子と発癌物質の代謝活性化に関与するP-450遺伝子の発現制御
平01		山村 研一	熊本大学医学部	教授	B型肝炎ウイルスによる肝炎・肝癌の発症の分子機構
平01		横田 淳	国立がんセンター研究所	室長	ヒトがんにおけるがん抑制遺伝子異常に関する分子遺伝学的研究
平01		渡辺 民朗	東北大学抗酸菌病研究所	教授	ヒト発癌に関与する内因性因子、特にチトクロームP-450の遺伝子多型性とその発現
昭63	1989・3・1	江角 浩安	国立がんセンター研究所	部長	ヘテロサイクリックアミンによる動物発癌の分子機構
昭63		奥村 康	順天堂大学医学部	教授	細胞障害性リンパ球由来のPore Forming Protein (PFP)による腫瘍細胞障害機序の解析
昭63		北川 知行	(財)癌研究会癌研究所	副所長	肝発癌過程の前癌性細胞における癌ないし癌関連遺伝子の変化およびその発現異常の解析
昭63		小西 陽一	奈良県立医科大学	教授	膵癌の発生に関する実験的研究
昭63		高井 義美	神戸大学医学部	教授	ras p21類似GTP結合蛋白質の機能と作用機構
昭63		中村 敏一	九州大学理学部	教授	肝再生因子の本体HGFの遺伝子クローニングと構造解析

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
昭63		西澤 誠	東京大学医科学研究所	助手	新しく同定された癌遺伝子mafの構造と機能
昭63		野田 亮	理化学研究所	研究員	癌抑制遺伝子の単離と解析
昭63		広橋 説雄	国立がんセンター研究所	室長	がん遺伝子異常の分子病理学 ―ヒトがんの発生・悪性度との関連について―
昭63		森 道夫	札幌医科大学	教授	慢性肝炎・肝癌自然発症ラットを用いた肝発癌の解析
昭62	1988・2・22	伊藤 嘉明	京都大学ウイルス研究所	教授	ポリオーマウイルス発癌遺伝子とエンハンサーの解析
昭62		大垣 比呂子	国立がんセンター研究所	研究員	加熱食品中の新規の変異原物質の発癌性の研究
昭62		岡部 哲郎	東京大学医学部	助手	モノクローナル抗体を用いたヒト肺小細胞癌の新しい診断及び治療法の開発
昭62		神奈木 玲児	京都大学医学部	講師	糖鎖性の癌抗原を利用した癌治療法の研究
昭62		菊地 浩吉	札幌医科大学	学長	人癌細胞に対する自己キラーT細胞クローンの確立とその応用
昭62		澁谷 正史	東京大学医科学研究所	助教授	細胞増殖に関わる受容体遺伝子群の構造・機能の解析と腫瘍における活性化機構の研究
昭62		鶴尾 隆	(財)癌研究会癌化学療法センター	部長	モノクローナル抗体を用いた抗癌剤耐性機構の研究とその診断、治療への応用
昭62		樋野 興夫	(財)癌研究会癌研究所	研究員	トランスジェニックマウスを用いた肝炎ウイルスによる肝発癌機構の研究
昭62		藤原 大美	大阪大学医学部バイオメディカルセンター	助教授	胸腺間質系細胞由来T細胞増殖因子の研究
昭62		山口 建	国立がんセンター研究所	部長	肺癌増殖におけるトランスホーミング増殖因子の意義
昭61	1987・2・21	有賀 寛芳	東京大学医科学研究所	助手	核内癌遺伝子のDNA複製蛋白としての役割
昭61		石川 隆俊	(財)癌研究会癌研究所	部長	DNA修復遺伝子(<i>ada</i>)導入トランスジェニックマウスの作製と同マウスを用いた発癌実験
昭61		木南 凌	東京大学医学部	助教授	染色体DNAの再編成及び染色体異数性出現の頻度への化学発癌物質・発癌プロモーターの影響
昭61		斎藤 政樹	自治医科大学	教授	シアロ糖脂質(ガングリオシド)およびその有機合成類似体による制癌の試み―シアロ糖脂質の抗白血病作用の特異的分子機構の解析
昭61		佐藤 茂秋	国立がんセンター研究所	部長	加熱食品中の発癌物質のヒト発癌に対する危険度の実験的検討
昭61		首藤 紘一	東京大学薬学部	教授	癌遺伝子の化学修飾
昭61		高久 史磨	東京大学医学部	教授	白血球増殖因子(CSF)を用いた、新しい癌治療法の開発
昭61		谷口 維紹	大阪大学細胞工学センター	教授	インターロイキン-2と受容体の作用機序及び遺伝子の発現制御機構の解析
昭61		立木 蔚	東北大学抗酸菌病研究所	教授	化学発癌と蛋白チロシン残基のリン酸化

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
昭61		藤木 博太	国立がんセンター研究所	部長	海洋生物に含まれる発癌抑制物質
昭60	1986・2・22	及川 淳	東北大学抗酸菌病研究所	教授	3-アミノハルマンの遺伝子毒性抑制効果
昭60		小池 克郎	(財)癌研究会癌研究所	部長	ヒト肝癌発生におけるB型肝炎ウイルスDNAの役割
昭60		佐藤 清美	弘前大学医学部	教授	新腫瘍マーカー:グルタチオンS-転移酵素P型に関する研究
昭60		佐藤 周子	愛知県がんセンター研究所	部長	核骨格-および細胞骨格-結合タンパクの癌性細胞増殖における役割
昭60		高山 昭三	国立がんセンター研究所	所長	日常環境下にある発癌物質の微量複合癌原作用
昭60		谷口 克	千葉大学医学部	教授	メラノーマ抗原の化学構造同定と免疫学的特性
昭60		津田 充宥	国立がんセンター研究所	室長	ヒト尿中に存在するニトロソ含硫アミノ酸の生物学的意義
昭60		長瀬 すみ	(財)佐々木研究所	部長	無アルブミンラットによる癌研究
昭60		日暮 真	山梨医科大学	教授	遺伝性高発がん性疾患の臨床生物学的研究
昭60		吉倉 廣	東京大学医学部	教授	レトロウイルスゲノムの宿主DNAへの組み込み過程に関する未解決部分の解明
昭59	1985・2・22	加藤 隆一	慶應義塾大学医学部	教授	癌原性アミンのN-水酸化体のO-アセチル化酵素によるDNA傷害
昭59		佐方 功幸	理化学研究所	研究員	ウシ白血病ウイルスの特異遺伝子(pXBL)の機能解析
昭59		下遠野 邦忠	国立がんセンター研究所	室長	ヒトT-細胞白血病ウイルス(HTLV-II)の構造と機能、特に細胞側遺伝子発現を活性化させるウイルス遺伝子およびその産物について
昭59		清木 元治	(財)癌研究会癌研究所	研究員	ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV)による成人T細胞白血病(ATL)発症の分子機構
昭59		瀬野 悍二	埼玉県立がんセンター研究所	部長	ヒト遺伝性fragile siteと癌細胞染色体転座の分子機構
昭59		田ノ岡 宏	国立がんセンター研究所	部長	マウス皮膚における放射線発がんの条件、およびその細胞起源に関する研究
昭59		長尾 美奈子	国立がんセンター研究所	室長	環境発がん物質による実験動物の発がんの過程とがん遺伝子活性化との関連
昭59		半田 宏	東京大学医科学研究所	助教授	哺乳動物細胞における遺伝子発現の調節機構
昭59		降旗 千恵	東京大学医科学研究所	助手	胃癌発生の促進因子および抑制因子の研究
昭59		前田 浩	熊本大学医学部	教授	腫瘍新生血管の特性に基づく腫瘍選択的薬剤に関する研究
昭59		村松 喬	鹿児島大学医学部	教授	テラトカルシノーマ幹細胞の糖鎖抗原の分子生物学的解析

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
昭58	1984・2・22	井川 洋二	理化学研究所	主任研究員	マウス内在性レトロウイルス <i>env</i> 遺伝子由来の白血病遺伝子の構造と機能の解析
昭58		岡田 秀親	福岡大学医学部	教授	腫瘍細胞膜上の自己補体認識因子についての解析
昭58		北村 幸彦	大阪大学医学部	教授	W/W ^v 突然変異マウスに自然発生する腫瘍のクローン性に関する研究
昭58		関根 暉彬	国立がんセンター研究所	主任研究官	胃スキルス of 早期診断のための単クローン抗体の研究
昭58		鶴尾 隆	(財)癌研究会癌化学療法センター	主任研究員	抗癌剤耐性の克服に関する基礎研究
昭58		寺田 雅昭	国立がんセンター研究所	部長	ras family 以外の癌遺伝子活性検出系の確立とその系を用いた人癌遺伝子の研究
昭58		橋本 嘉幸	東北大学薬学部	教授	モノクローナル抗体を利用した膀胱癌並びに上皮性癌の診断・治療に関する基礎的研究
昭58		濱岡 利之	大阪大学医学部	教授	T-T細胞間相互作用による腫瘍特異免疫療法の確立と腫瘍再発・進展阻止のこころみ
昭58		日合 弘	愛知県がんセンター研究所	室長	白血病の発生・進展に関わる胸腺被膜下層微小環境の特性
昭58		星野 洪郎	国立がんセンター研究所	室長	細胞融合形成試験を用いての成人T細胞白血病ウイルス (ATLV/HTLV) の感染の研究
昭58		村松 正実	東京大学医学部	教授	癌細胞におけるリボソームRNA遺伝子活性化の機構
昭57	1983・2・22	石橋 正英	愛知県がんセンター研究所	部長	腫瘍細胞中に存在する腫瘍化関連遺伝子の染色体上座位の解析のために、より鋭敏な <i>in situ</i> hybridization 法の開発 ・材料としてアデノウイルス誘発腫瘍細胞を用いた解析 ・
昭57		垣添 忠生	国立がんセンター病院	医師	単離膀胱上皮のレクチンによる凝集維持を指標とした膀胱発癌プロモーター、インヒビターの検索
昭57		河井 貞明	東京大学医科学研究所	助教授	トリRNA腫瘍ウイルスに見い出される発癌遺伝子の研究
昭57		高橋 道人	国立衛生試験所	室長	胃粘膜における胃癌プロモーター作用物質の影響
昭57		谷口 維紹	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	インターフェロン遺伝子の構造と、その微生物並びに動物細胞における発見
昭57		谷口 直之	北海道大学医学部癌研究施設	助教授	γ-グルタミルトランスぺプチターゼの構造と癌化における糖鎖のプロセッシング
昭57		林 健志	国立がんセンター研究所	研究員	発がん過程における遺伝子増幅の役割
昭57		藤井 義明	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	化学発癌物質の代謝活性化に関与しているチトクロームP-450遺伝子の構造とその発現機構の研究
昭57		三輪 正直	国立がんセンター研究所	部長	ポリADP-リボース合成の発癌及び制癌における役割
昭57		谷内 昭	札幌医科大学	教授	Carcinoembryonic antigen (CEA) に対する monoclonal 抗体を用いた CEA 分子種の免疫学的検索ならびにその新しい臨床応用に関する
昭57		若林 敬二	国立がんセンター研究所	研究員	亜硝酸処理により生成されるしょう油中の変異原・癌原物質に関する研究

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
昭56	1982・2・22	井坂 英彦	鹿児島大学医学部	教授	再構成細胞を用いたがんの研究
昭56		江角 浩安	国立がんセンター研究所	室長	無アルブミン血症ラットを用いたmRNAプロセシング機構の研究と癌原物質による体細胞突然変異の研究
昭56		梶井 正	山口大学医学部	教授	絨毛上皮腫の起源の研究
昭56		片岡 建之	(財)癌研究会癌化学療法センター	主任研究員	免疫抑制細胞の除去に基いた癌免疫化学療法の開発
昭56		川市 正史	京都大学医学部	医員	発癌因子によってひきおこされるDNA損傷の修復過程におけるポリ(ADP-リボシル)化反応の役割
昭56		岸本 忠三	大阪大学医学部	教授	キラーT細胞誘導を調節するヒトT細胞クローンの確立と調節因子の解析
昭56		佐々木 正夫	京都大学放射線生物研究センター	教授	高発癌性遺伝疾患の病因と癌化の機構に関する細胞遺伝学的研究
昭56		高月 清	熊本大学医学部	教授	成人T細胞白血病の研究
昭56		幕内 雅敏	国立がんセンター病院	医師	超音波ガイド下肝切除術のための術中超音波探触子の開発に関する研究
昭56		松倉 則夫	国立がんセンター研究所	室長	胃癌発生の遺伝背景に関する実験的研究 ・特にNメチル-N'-ニトロ-N-ニトロソグアニジン(MNNG)による胃癌発生のラット系統差につ
昭56		宮木 美知子	(財)東京都臨床医学総合研究所	室長	高発癌性優性遺伝疾患における発癌素因の研究
昭56		三好 勇夫	高知医科大学	助教授	成人T細胞白血病患者よりのC型ウイルスの分離とその病因的意義
昭55	1981・2・22	東 市郎	北海道大学免疫科学研究所	教授	癌免疫療法に関する基礎的研究
昭55		石川 隆俊	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	器官培養を用いた癌原物質によるDNA修復の研究
昭55		石舘 基	国立衛生試験所	部長	環境変異原・癌原物質の短期スクリーニング法の開発並びに情報データの集積
昭55		井村 裕夫	京都大学医学部	教授	腫瘍における異所性ホルモン産生の機序に関する研究
昭55		小川 一誠	(財)癌研究会癌化学療法センター	部長	癌化学療法効果の予言性確立のための基礎的・臨床的研究
昭55		児玉 光雄	愛知県がんセンター研究所	室長	癌と内分泌環境
昭55		白石 行正	高知医科大学	助教授	高知県における白血病・前白血病の早期発見に関する細胞遺伝学的研究
昭55		白木 和子	東京大学医科学研究所	助手	アデノウイルス12型の発癌遺伝子の機能検討
昭55		寺田 雅昭	国立がんセンター研究所	室長	ジフテリア毒素抵抗性変異細胞を指標とする環境癌原物質の検索
昭55		吉倉 廣	東京大学医科学研究所	助教授	マウスC型ウイルスのDNAプロウイルスの宿主DNAへの編入に関与する宿主因子の解析
昭55		吉田 修	京都大学医学部	教授	膀胱の発癌機構に関する研究 ・特にヒト尿中のイニシエーターおよびプロモーターについて ・

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
昭54	1980・2・22	倉恒 匡徳	九州大学医学部	教授	インドの菜食主義者の癌に関する疫学的研究
昭54		黒木 登志夫	東京大学医科学研究所	助教授	ヒト皮膚角化細胞を用いた化学発癌の研究
昭54		武部 啓	京都大学放射線生物研究センター	教授	高発がん性遺伝病細胞を用いた生体外発がん実験系の確立
昭54		原田 文夫	国立がんセンター研究所	室長	RNA腫瘍ウイルスの粒子内に存在する新低分子量RNAの構造と機能
昭54		藤木 博太	国立がんセンター研究所	室長	自然界に存在する発癌促進物質(プロモーター)の開発
昭54		藤永 蕙	札幌医科大学癌研究所	教授	ウイルス発癌遺伝子の構造と遺伝情報発現
昭54		牧田 章	北海道大学医学部	教授	ヒト肺癌組織の生化学的研究
昭54		松島 泰次郎	東京大学医科学研究所	教授	癌原物質の代謝活性化系の研究
昭54		村松 正実	(財)癌研究会癌研究所	部長	動物細胞リボゾームRNA遺伝子の構造と機能調節
昭54		渡辺 昌	国立がんセンター研究所	室長	人白血病・悪性リンパ腫のnude miceへの移植系の確立
昭53	1979・2・22	池永 満生	大阪大学医学部	助教授	ショウジョウバエにおける4NQOおよびアルキル化剤によるDNA損傷と発癌
昭53		勝沼 信彦	徳島大学医学部	教授	リンパ性白血病治療へのグルココルチコイド作用増強物質適用の基礎的研究
昭53		小池 克郎	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	発癌剤によるDNA複製機構の修飾に関する研究
昭53		坂倉 照女予(「よ」 はおんなへん)	愛知県がんセンター研究所	室長	乳腺の分化と乳癌発生 ・特に上皮・間葉両成分の相互作用と関係して ・
昭53		佐々木 本道	北海道大学理学部動物染色体研究施設	教授	ヒト及びムンチャクの培養体細胞による発癌機構の細胞遺伝学的解析
昭53		高井 克治	京都大学医学部	助手	トリプトファンの酵素的除去による癌治療の基礎的研究
昭53		長瀬 すみ	(財)佐々木研究所	主任研究員	無アルブミン血症ラットにおける癌研究
昭53		西村 暉	国立がんセンター研究所	部長	腫瘍特異tRNAの同定とその癌診断と制癌への応用
昭53		松本 圭史	大阪大学医学部癌研	教授	ホルモン受容体と乳癌の増殖と抑制
昭53		山口 宣生	東京大学医科学研究所	助手	シミアンウイルス40の発癌遺伝子産物T抗原の機能と解析
昭52	1978・2・22	伊東 信行	名古屋市立大学医学部	教授	膀胱癌に関する実験的研究
昭52		上田 國寛	京都大学化学研究所	助手	癌細胞の異常なGene ExpressionとポリADP-リボシル化

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
昭52		梅澤 一夫	東京大学医科学研究所	助手	ハムスター胎児細胞の試験管内発癌とその抑制の研究
昭52		岡田 正志	(財)東京生化学研究所	所長	ニトロソアミンによる膀胱発癌の機作に関する研究
昭52		小林 博	北海道大学医学部癌研究施設	教授	異物化癌細胞の膜面における抗原局在に関する研究
昭52		豊島 滋	慶應義塾大学医学部	教授	多元的性格をもつ制癌剤開発の基礎的研究 特に免疫刺激効果と癌細胞増殖抑制効果を併有する制癌性アミノ酸誘導体について
昭52		長尾 美奈子	国立がんセンター研究所	室長	環境中、特に食品中の癌原性物質の検出
昭52		長瀬 すみ	(財)佐々木研究所	主任研究員	がん研究に用いられる実験動物の臨床生化学的研究
昭52		西塚 泰美	神戸大学医学部	教授	癌細胞のホルモン受容機構と情報伝達に関する生化学、および蛍光抗体による組織化学的研究
昭52		吉田 光昭	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	トリ肉腫ウイルスの肉腫遺伝子(Sarc-gene)の発現と癌化誘導に関する研究
昭51	1977・2・22	及川 淳	東北大学抗酸菌病研究所	教授	DNA修復欠損をもつ培養系リンパ芽球様細胞による癌原性物質の選別
昭51		小田 鈎一郎	東京大学医科学研究所	助教授	腫瘍ウイルス(SV40)による細胞のトランスホメーションの機構
昭51		河内 卓	国立がんセンター研究所	副所長	食物の調理による突然変異原物質の生成 ・特に人の癌の原因との関連について
昭51		北川 知行	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	肝癌発生過程の研究
昭51		馬場 恒男	九州大学医学部癌研究施設	教授	癌の生物学的特異性に基づく癌選択障害因子の研究
昭51		広野 巖	岐阜大学医学部	教授	植物性天然発癌物質に関する研究
昭51		藤永 恵 (「けい」はくさかんむりがつく)	札幌医科大学癌研究所	教授	造腫瘍性ヒトアデノウイルスの遺伝子地図
昭51		渡邊 格	慶應義塾大学医学部	教授	tRNA依存グアニン取り込み活性の腫瘍細胞特異性について
昭50	1976・2・23	東 市郎	大阪大学医学部	助手	BCG細胞壁及び類縁物質による癌の免疫療法 ・基礎的研究と臨床応用 ・
昭50		市原 明	徳島大学医学部	教授	ヒト癌を主とする分岐鎖アミノ酸トランスアミナーゼ・アイソザイムの偏倚の研究
昭50		河内 卓	国立がんセンター研究所	部長	胃にみられる腸上皮化生の生化学的研究 ・胃の前癌状態との関連について ・
昭50		木村 元喜	鳥取大学医学部	教授	パポーパウイルスの発癌機構
昭50		木幡 陽	神戸大学医学部	教授	細胞の悪性化に伴う細胞表面構造の変化とその生理学的意義
昭50		多田 満彦	愛知県がんセンター研究所	室長	4-ニトロキノリン1-オキシドの代謝的活性化と核酸への結合の研究

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
昭50		塚越 茂	(財)癌研究会癌化学療法センター	部長	免疫刺激剤と表面膜修飾がん細胞とを用いてのがん抵抗性の誘導 ・L1210マウス白血病の場合 ・
昭50		早石 修	京都大学医学部	教授	Poly(ADP-ribose)生合成と発癌機構について
昭50		山本 正	東京大学医科学研究所	所長	癌原物質の閾値決定とTier Methodの研究
昭49	1975・2・22	東 市郎	大阪大学医学部	助手	BCGおよび類縁菌の菌体成分による癌の免疫療法に関する基礎的 研究
昭49		漆崎 一郎	札幌医科大学癌研究所	教授	がん細胞およびがん血清中の細胞性免疫抑制物質の本態と作用機 構にかんする研究
昭49		及川 淳	東北大学抗酸菌病研究所	教授	悪性黒色腫瘍細胞の分化した機能(メラニン合成能)の制御と糖代 謝
昭49		賀田 恒夫	国立遺伝学研究所	部長	突然変異原性とがん原性の評価方法に関する研究
昭49		加藤 四郎	大阪大学微生物病研究所	教授	マレック病リンパ腫由来培養株細胞に関する研究
昭49		杉山 武敏	神戸大学医学部	教授	染色体組換えと発癌
昭49		野村 大成	大阪大学医学部癌研	医員	癌原性物質のマウス胎児および生殖細胞に及ぼす影響 ・特に腫 瘍発生とその解析 ・
昭49		長谷川 博	国立がんセンター病院	医長	人の肝広範囲切除後におけるアミノ酸および燐酸代謝の研究
昭49		馬場 恒男	九州大学医学部癌研究施設	教授	新しい癌化学療法開発の試み ・薬剤投与後局所血行一時停止療 法の基礎実験的研究 ・
昭49		六反田 亮	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	マウス肉腫ウイルス(MSV)の増殖及び同ウイルスによる形質転換の 生化学的研究
昭48	1974・2・22	井川 洋二	(財)癌研究会癌研究所	研究員	培養フレンド白血病細胞の <i>in vitro</i> における分化の誘導および分化 機序の解明
昭48		遠藤 英也	九州大学医学部	教授	ひと胃癌発生の原因物質の研究
昭48		大里 外誉郎	北海道大学医学部	教授	潜在人がんウイルスゲノムの動態とその活性化に関する研究-ヒト 細胞におけるEBウイルスとC型ウイルスの重感染を中心に-
昭48		高橋 理明	大阪大学微生物病研究所	助教授	ヘルペスウイルス温度感受性変異株による発癌の研究
昭48		早石 修	京都大学医学部	教授	Poly ADP-riboseの生物学的意義について
昭48		平井 秀松	北海道大学医学部	教授	肝炎と肝癌の因果関係の解析
昭48		福岡 文子	国立がんセンター研究所	部長	核酸の微量成分及びその誘導体の合成とその制癌への応用
昭48		松島 泰次郎	東京大学医科学研究所	助教授	癌原生と突然変異誘起性との関係について
昭48		村松 正実	徳島大学医学部	教授	癌細胞における核小体およびリボソームRNAの特異性

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
昭47	1973・2・22	市川 康夫	京都大学ウイルス研究所	助教授	白血病細胞の分化
昭47		宇多小路 正	(財)癌研究会癌研究所	研究員	人および動物染色体の化学構築
昭47		小林 博	北海道大学医学部癌研究施設	教授	発癌と免疫との関係に関する研究
昭47		竹内 正	国立がんセンター病院	医員	ヒトの硬性胃癌(スキルス)におけるコラーゲン生成機構の解明
昭47		竹内 富雄	(財)微生物化学研究所	部長	蛋白質分解酵素阻害剤(ロイペプチン)による発癌抑制に関する研究
昭47		千原 呉郎	国立がんセンター研究所	室長	癌に対する生体固有の抵抗機構とその促進物質に関する研究
昭47		長与 健夫	愛知県がんセンター研究所	部長	胃癌の発生、発育に関する組織学的、実験的研究
昭47		秦 藤樹	北里研究所部長 北里大学	教授	新放線菌(OS-3256)の産生する抗腫瘍性抗生物質に関する研究
昭47		早石 修	京都大学医学部	教授	Poly ADP-riboseの生物学的意義について
昭47		吉田 通弘	北海道大学理学部動物染色体研究施設	助教授	細胞雑種法による腫瘍性の分析
昭46	1972・2・22	小田嶋 成和	国立衛生試験所	部長	N-nitrosobutylurea (NBU)およびその誘導体による実験的白血病
昭46		加藤 四郎	大阪大学微生物病研究所	教授	マレック氏病ウイルスワクチンによる発癌防禦機構に関する研究
昭46		佐藤 茂秋	東京大学医科学研究所	助手	癌細胞における異常な分化の研究
昭46		下條 寛人	東京大学医科学研究所	教授	癌ウイルス変異株によるウイルス発癌の機序の解析
昭46		高山 昭三	(財)癌研究会癌研究所	部長	天然に存在する癌原性化学物質、特にCycasin, Aflatoxinおよび各種のnitroso化合物の経胎盤法による腫瘍形成-小児癌発生機序の解明に関連して-
昭46		千原 呉郎	国立がんセンター研究所	室長	多糖体の抗腫瘍性と癌に対する生体固有の抵抗因子に関する研究
昭46		豊島 久真男	大阪大学微生物病研究所	助教授	トリ肉腫ウイルスにおける肉腫ゲノムとウイルスゲノムの関連性に関する研究
昭46		日沼 頼夫	熊本大学医学部	教授	EBウイルスの癌病因論的研究-特に新抗原について-
昭46		藤井 節郎	徳島大学医学部	教授	トキソホルモンの研究
昭45	1971・2・22	小高 健	東京大学医科学研究所	助教授	Friend白血病ウイルスに対する感受性の遺伝
昭45		小野 哲生	(財)癌研究会癌研究所	部長	細胞質遺伝因子(DNA)の機能と癌化における役割
昭45		川添 豊	国立がんセンター研究所	室長	化学物質の発癌過程の化学反応論的解析

年度	受領 年月日	氏名	所属	職	業績/題目
昭45		西塚 泰章	愛知県がんセンター研究所	部長	癌発生の制御にあずかる生体条件の研究―特に胸腺機能と関係して―
昭45		堀尾 武一	大阪大学蛋白質研究所	助教授	癌細胞クロマチンからトキソホルモンの単離およびその性状の研究
昭44	1969・11・28	井坂 英彦	(財)佐々木研究所	部長	腹水腫瘍による癌の細胞病理学的研究
昭44		佐々木 本道	北海道大学理学部動物染色体研究施設	助教授	白血病細胞の染色体研究
昭44		菅野 晴夫	(財)癌研究会癌研究所	部長	組織培養による胃癌細胞の研究
昭44		須田 正巳	大阪大学蛋白質研究所	教授	担癌生体における代謝偏倚と、その原因に関する研究
昭44		西村 暉	国立がんセンター研究所	部長	転移核酸の遺伝情報認識機構に関する研究
昭44		松澤 大樹	愛知県がんセンター研究所	部長	高エネルギー放射線治療における癌組織の細胞動態学的研究